

# 塩竈市地域福祉計画策定のための アンケート調査結果報告書

令和5年3月

塩 竈 市

# 目次

I	調査の概要	2
1	調査の目的	2
2	調査対象	2
3	調査期間	2
4	調査方法	2
5	回収状況	2
6	調査結果の表示方法	3
II	調査結果	4
1	塩竈市地域福祉に関するアンケート調査	4
	(1) あなた自身のことについて	4
	(2) 世帯のことについて	6
	(3) 地域との関わり合いについて	10
	(4) 地域での活動（町内会・自治会やボランティア、市民活動など）について	31
	(5) 悩み事や福祉に関する相談先について	44
	(6) 犯罪をした人の立ち直りの支援について	49
	(7) 社会的な課題について	52
	(8) 災害発生時における助け合い活動について	59
	(9) 地域福祉全般について	68
2	市窓口・相談支援機関へのニーズ調査	72
3	民生児童委員・各種団体の方へのニーズ調査	78

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

(市民向けアンケート調査) 地域福祉の推進に向けて住民ニーズを把握するとともに、塩竈市福祉施策の認知度、各事業の評価、地域福祉の担い手としての意識・意向を把握するためにアンケート調査を行った。

(窓口・団体向けアンケート調査) 地域で活動する団体を対象に、地域福祉に係る現状と課題、事業計画、地域資源活用の可能性を把握するためにアンケート調査を行った。

## 2 調査対象

塩竈市地域福祉に関するアンケート調査：市内在住の18歳以上の市民

市窓口・相談支援機関へのニーズ調査：市内窓口、相談支援機関

民生児童委員・各種団体の方へのニーズ調査：民生児童委員協議会、各種団体の方

## 3 調査期間

令和4年11月

## 4 調査方法

各調査対象へ質問票を郵送・返送やインターネット回答にて回収

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
塩竈市地域福祉に関するアンケート調査	2000 通	928 通 (内インターネット回答 133 通)	46.4%
市窓口・相談支援機関へのニーズ調査	23 通	15 通	65.2%
民生児童委員・各種団体の方へのニーズ調査	20 通	15 通	75.0%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

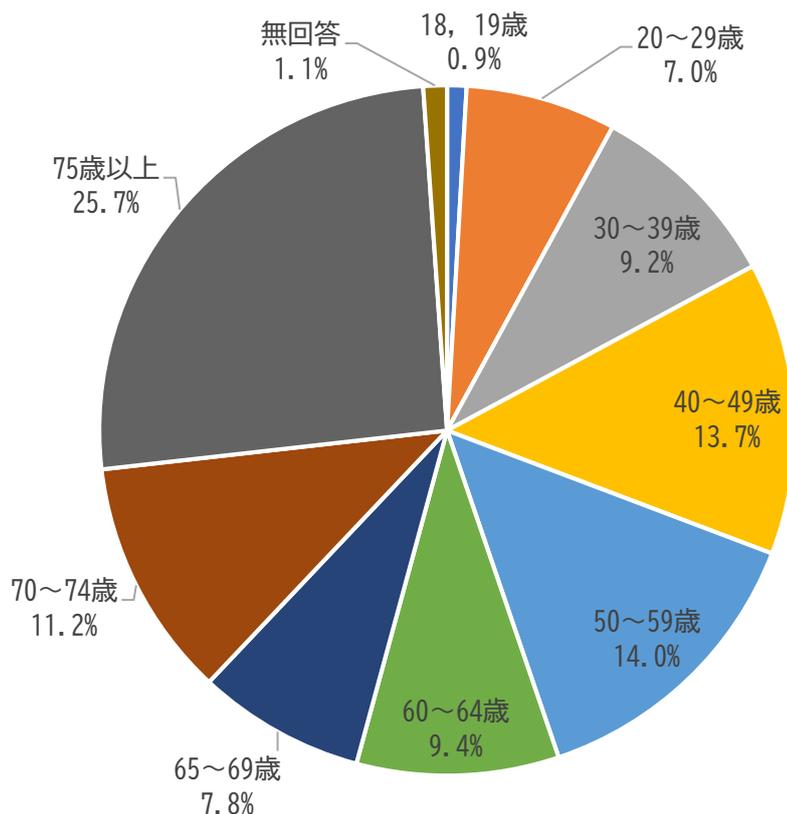
## Ⅱ 調査結果

### 塩竈市地域福祉に関するアンケート調査

#### (1) あなた自身のことについて

問1 あなたの年齢は次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

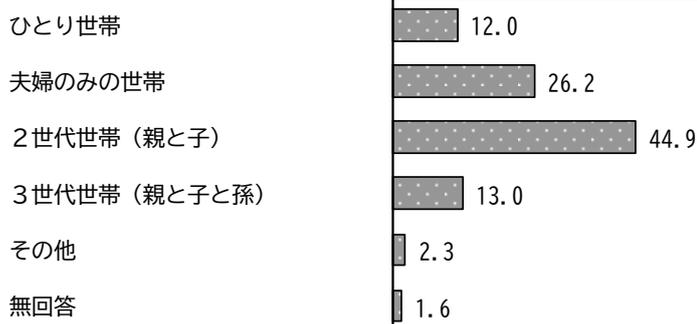
「75歳以上」の割合が25.8%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が14.1%、「40～49歳」の割合が13.7%となっています。



問2 あなたの世帯構成を教えてください。(○は1つだけ)

「2世代世帯(親と子)」の割合が44.9%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の割合が26.2%、「3世代世帯(親と子と孫)」の割合が13.0%となっています。

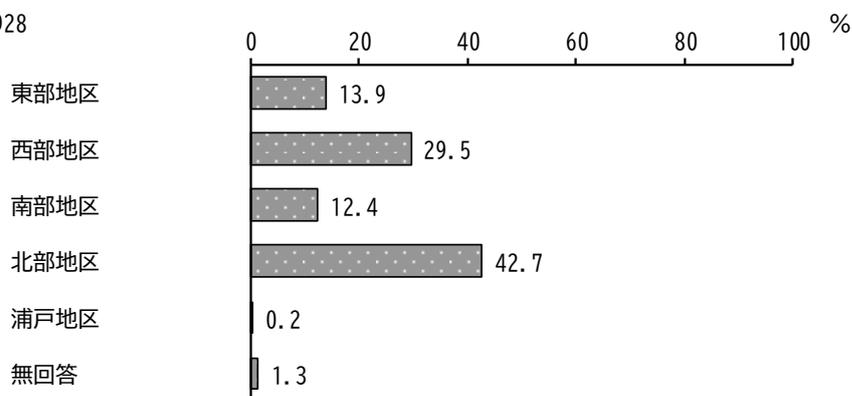
回答者数 = 928



問3 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(○は1つだけ)

「北部地区」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「西部地区」の割合が 29.5%、「東部地区」の割合が 13.9%となっています。

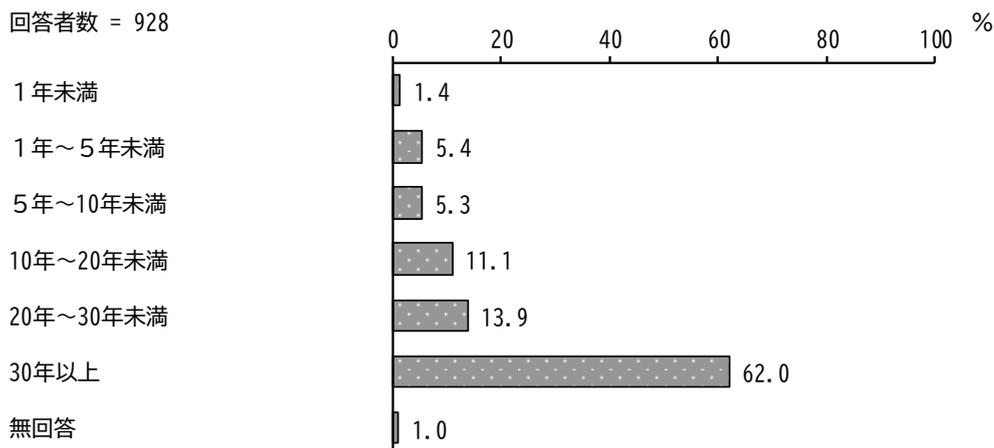
回答者数 = 928



問4 あなたは、塩竈市に通算でどのくらいお住まいですか。(○は1つだけ)

「30年以上」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「20年～30年未満」の割合が 13.9%、「10年～20年未満」の割合が 11.1%となっています。

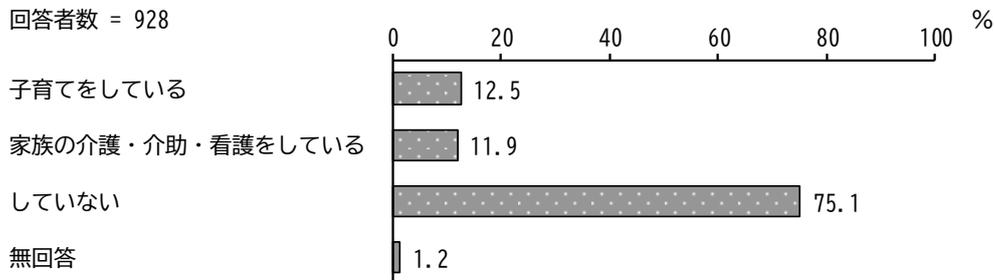
回答者数 = 928



## (2) 世帯のことについて

問5 あなたは、現在、就学前の子を育てていたり、ご家族（同居・別居を問わない）の介護・介助・看護をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「していない」の割合が 75.1%と最も高く、次いで「子育てをしている」の割合が 12.5%、「家族の介護・介助・看護をしている」の割合が 11.9%となっています。



### 【年齢別】

年齢別にみると、30～39歳で「子育てをしている」の割合が突出しており、50～64歳で「家族の介護・介助・看護をしている」の割合が、他の年代より高い傾向となっております。

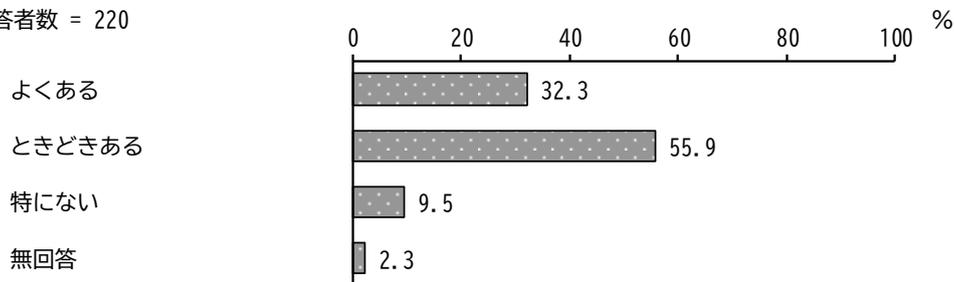
単位：%

区分	回答者数 (件)	子育てをしている	家族の介護・介助・看護をしている	していない	無回答
全体	928	12.5	11.9	75.1	1.2
18、19歳	8	—	—	100.0	—
20～29歳	65	18.5	1.5	80.0	—
30～39歳	85	51.8	4.7	47.1	—
40～49歳	127	28.3	14.2	59.1	—
50～59歳	131	12.2	26.0	61.8	—
60～64歳	87	4.6	23.0	71.3	2.3
65～69歳	72	—	13.9	86.1	—
70～74歳	104	1.0	6.7	90.4	1.9
75歳以上	239	1.3	6.7	90.8	1.3

問5-1 あなたが子育てやご家族の介護・介助・看護をしているなかで、生活上悩みや不安を感じることはありますか。(〇は1つだけ)

「ときどきある」の割合が55.9%と最も高く、次いで「よくある」の割合が32.3%となっています。

回答者数 = 220



【年齢別】

年齢別にみると、全年齢で「よくある」、「ときどきある」の割合が高く、70～74歳で「よくある」の割合が回答者の約半数となっています。

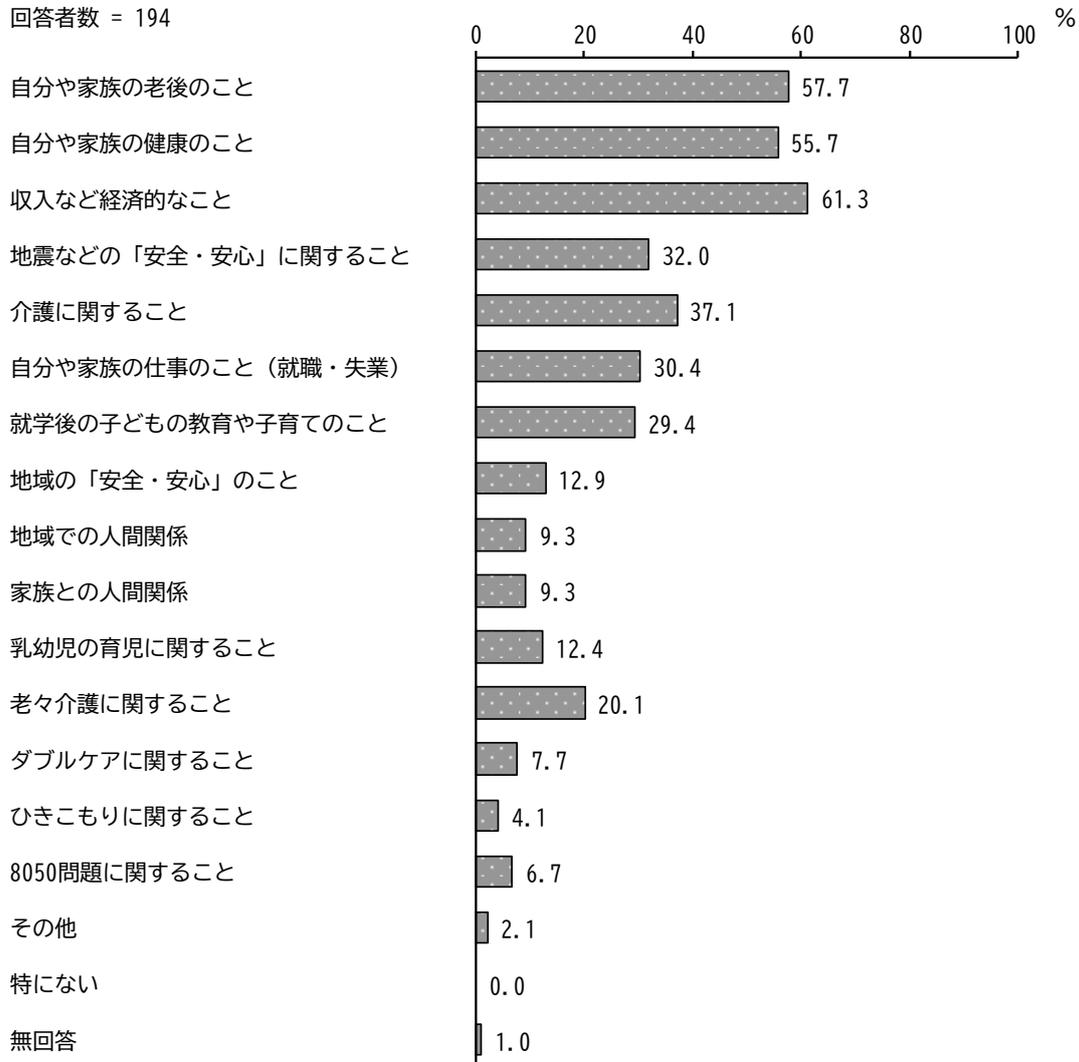
単位：%

区分	回答者数(件)	よくある	ときどきある	特にない	無回答
全体	220	32.3	55.9	9.5	2.3
18、19歳	—	—	—	—	—
20～29歳	13	38.5	38.5	15.4	7.7
30～39歳	45	44.4	53.3	2.2	—
40～49歳	52	26.9	61.5	11.5	—
50～59歳	50	34.0	50.0	12.0	4.0
60～64歳	23	17.4	78.3	—	4.3
65～69歳	10	20.0	60.0	20.0	—
70～74歳	8	50.0	37.5	—	12.5
75歳以上	19	26.3	52.6	21.1	—

問5-2 あなたが感じている悩みや不安は具体的にどのようなことですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「収入など経済的なこと」の割合が61.3%と最も高く、次いで「自分や家族の老後のこと」の割合が57.7%、「自分や家族の健康のこと」の割合が55.7%となっています。

回答者数 = 194



【年齢別】

年齢別にみると、20～49歳で「収入など経済的なこと」、50～64歳で「自分や家族の老後のこと」、65～74歳で「介護に関すること」、70歳以上で「自分や家族の健康のこと」の割合が高くなっています。

また、他の年代に比べ、20～39歳では「乳幼児の育児に関すること」、「就学後の子どもの教育や子育てのこと」、「地域の「安全・安心」のこと」が高く、65歳以上では「老々介護に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

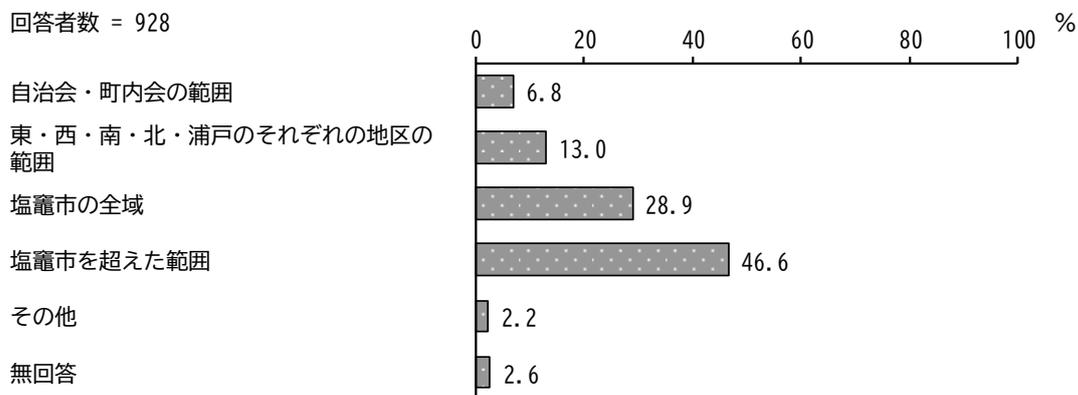
区分	回答者数(件)	自分や家族の老後のこと	自分や家族の健康のこと	収入など経済的なこと	地震などの「安全・安心」に関すること	介護に関すること	自分や家族の仕事のこと(就職・失業)	就学後の子どもの教育や子育てのこと	地域の「安全・安心」のこと	地域での人間関係
全体	194	57.7	55.7	61.3	32.0	37.1	30.4	29.4	12.9	9.3
18、19歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～29歳	10	40.0	50.0	80.0	40.0	10.0	20.0	50.0	40.0	30.0
30～39歳	44	38.6	45.5	65.9	29.5	13.6	29.5	54.5	15.9	11.4
40～49歳	46	58.7	58.7	71.7	30.4	32.6	45.7	39.1	8.7	8.7
50～59歳	42	78.6	45.2	59.5	28.6	42.9	31.0	14.3	9.5	4.8
60～64歳	22	72.7	68.2	45.5	40.9	54.5	40.9	9.1	4.5	4.5
65～69歳	8	50.0	62.5	37.5	37.5	75.0	—	—	—	25.0
70～74歳	7	42.9	85.7	57.1	42.9	85.7	—	14.3	28.6	—
75歳以上	15	53.3	73.3	46.7	26.7	53.3	6.7	6.7	20.0	6.7

区分	家族との人間関係	乳幼児の育児に関すること	老々介護に関すること	ダブルケアに関すること	ひきこもりに関すること	888問題に関すること	その他	特にない	無回答
全体	9.3	12.4	20.1	7.7	4.1	6.7	2.1	—	1.0
18、19歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～29歳	20.0	50.0	—	10.0	—	—	10.0	—	—
30～39歳	4.5	31.8	6.8	9.1	2.3	2.3	—	—	—
40～49歳	8.7	6.5	4.3	8.7	4.3	2.2	—	—	—
50～59歳	14.3	2.4	31.0	7.1	2.4	14.3	2.4	—	2.4
60～64歳	4.5	—	18.2	—	13.6	13.6	—	—	—
65～69歳	12.5	—	50.0	12.5	12.5	—	—	—	—
70～74歳	14.3	—	71.4	—	—	—	—	—	—
75歳以上	6.7	6.7	53.3	13.3	—	13.3	13.3	—	6.7

### (3) 地域との関わり合いについて

問6 通勤や通学は除いて、あなたが日常の買い物、活動などで行動する範囲は、次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

「塩竈市を超えた範囲」の割合が46.6%と最も高く、次いで「塩竈市の全域」の割合が28.9%、「東・西・南・北・浦戸のそれぞれの地区の範囲」の割合が13.0%となっています。



#### 【年齢別】

年齢別にみると、69歳までで「塩竈市を超えた範囲」が、その他の年代は「塩竈市の全域」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自治会・町内会の範囲	東・西・南・北・浦戸のそれぞれの地区の範囲	塩竈市の全域	塩竈市を超えた範囲	その他	無回答
全体	928	6.8	13.0	28.9	46.6	2.2	2.6
18、19歳	8	—	—	—	100.0	—	—
20～29歳	65	6.2	9.2	13.8	67.7	1.5	1.5
30～39歳	85	—	4.7	20.0	71.8	—	3.5
40～49歳	127	3.1	15.0	21.3	60.6	—	—
50～59歳	131	1.5	10.7	29.8	57.3	—	0.8
60～64歳	87	4.6	16.1	31.0	47.1	1.1	—
65～69歳	72	5.6	12.5	27.8	50.0	2.8	1.4
70～74歳	104	11.5	11.5	40.4	32.7	1.0	2.9
75歳以上	239	13.4	17.6	36.0	22.6	5.9	4.6

【地域別】

地域別にみると、全体で「塩竈市を超えた範囲」の割合が高くなっています。

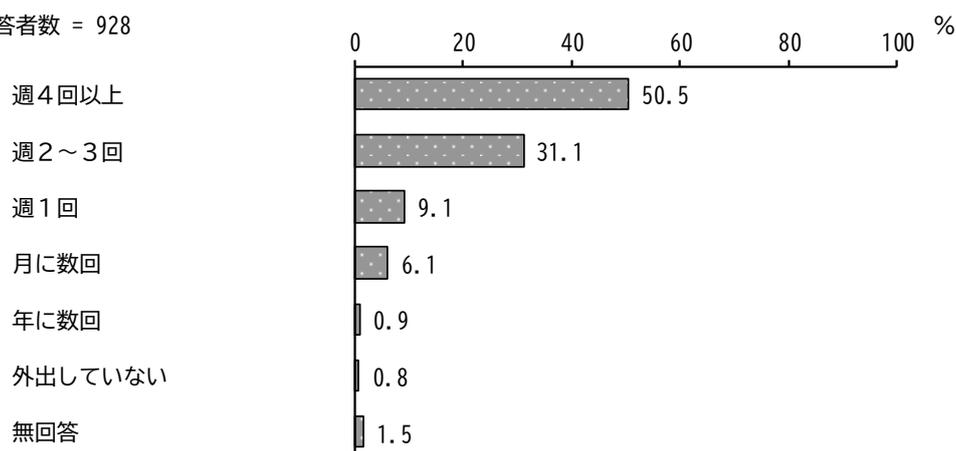
位：%

区分	回答者数(件)	自治会・町内会の範囲	東・西・南・北・浦戸のそれぞれの地区の範囲	塩竈市の全域	塩竈市を超えた範囲	その他	無回答
全体	928	6.8	13.0	28.9	46.6	2.2	2.6
東部地区	129	9.3	12.4	34.9	39.5	1.6	2.3
西部地区	274	6.2	10.2	24.5	55.1	2.9	1.1
南部地区	115	5.2	17.4	30.4	43.5	1.7	1.7
北部地区	396	6.8	14.4	29.5	44.7	1.8	2.8
浦戸地区	2	—	—	100.0	—	—	—

問7 あなたが外出する頻度はどのくらいですか。(○は1つだけ)

「週4回以上」の割合が50.5%と最も高く、次いで「週2～3回」の割合が31.1%となっています。

回答者数 = 928



【年齢別】

年齢別にみると、64歳以下は「週4回以上」の割合が高く、65歳以上になると「週2～3回」の割合が高い傾向にあります。

単位：%

区分	回答者数(件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月に数回	年に数回	外出していない	無回答
全体	928	50.5	31.1	9.1	6.1	0.9	0.8	1.5
18、19歳	8	75.0	12.5	—	12.5	—	—	—
20～29歳	65	60.0	29.2	9.2	1.5	—	—	—
30～39歳	85	60.0	20.0	10.6	9.4	—	—	—
40～49歳	127	69.3	18.9	7.1	4.7	—	—	—
50～59歳	131	55.0	30.5	6.1	6.1	1.5	—	0.8
60～64歳	87	52.9	36.8	5.7	2.3	1.1	—	1.1
65～69歳	72	38.9	41.7	8.3	6.9	—	1.4	2.8
70～74歳	104	51.0	33.7	6.7	3.8	1.9	1.0	1.9
75歳以上	239	33.9	36.8	13.4	9.2	1.3	2.1	3.3

問8 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つだけ)

「年に数回」の割合が26.1%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が22.3%、「会っていない」の割合が16.4%となっています。

回答者数 = 928



【年齢別】

年齢別にみると、全体的に「月に数回」、「年に数回」の割合が高い傾向となっております。

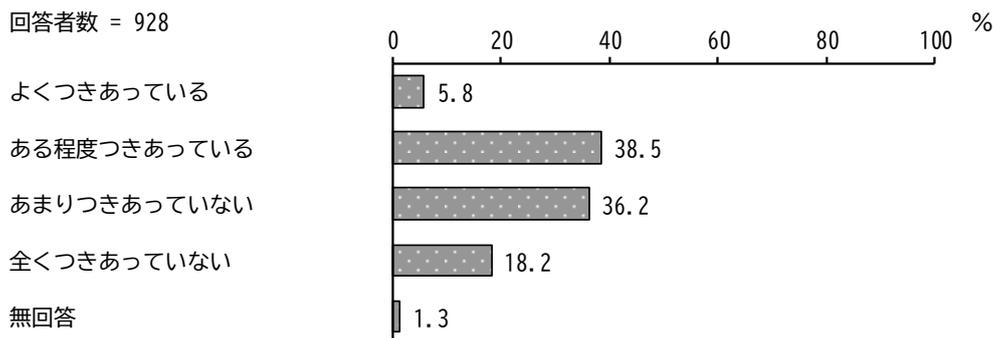
単位：%

区分	回答者数(件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月に数回	年に数回	会っていない	無回答
全体	928	9.3	13.0	11.0	22.3	26.1	16.4	1.9
18、19歳	8	50.0	12.5	—	12.5	25.0	—	—
20～29歳	65	15.4	12.3	10.8	26.2	20.0	15.4	—
30～39歳	85	9.4	3.5	7.1	31.8	34.1	14.1	—
40～49歳	127	9.4	9.4	7.9	20.5	37.0	15.0	0.8
50～59歳	131	3.8	6.1	11.5	20.6	32.8	24.4	0.8
60～64歳	87	11.5	8.0	6.9	21.8	35.6	16.1	—
65～69歳	72	5.6	12.5	9.7	27.8	29.2	12.5	2.8
70～74歳	104	6.7	18.3	14.4	26.0	19.2	12.5	2.9
75歳以上	239	10.5	20.9	15.1	17.2	14.2	17.6	4.6

問9 ふだん近所の人と、どの程度のつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

「ある程度つきあっている」の割合が38.5%と最も高く、次いで「あまりつきあっていない」の割合が36.2%、「全くつきあっていない」の割合が18.2%となっています。

回答者数 = 928



## 【年齢別】

年齢別にみると、29歳までが「全くつきあっていない」の割合が約半数となり、30～64歳で「あまりつきあっていない」の割合が高く、65歳以上で「ある程度つきあっている」の割合が高い傾向となっています。

単位：％

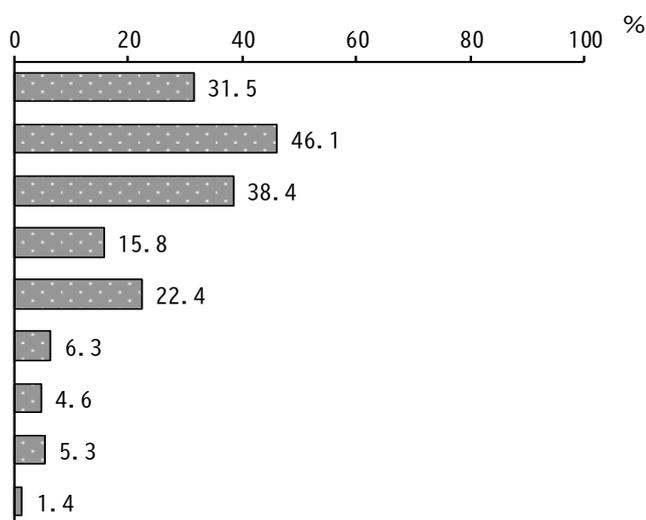
区分	回答者数(件)	よくつきあっている	ある程度つきあっている	あまりつきあっていない	全くつきあっていない	無回答
全体	928	5.8	38.5	36.2	18.2	1.3
18、19歳	8	—	37.5	12.5	50.0	—
20～29歳	65	1.5	16.9	30.8	50.8	—
30～39歳	85	3.5	24.7	42.4	29.4	—
40～49歳	127	3.1	33.1	40.2	23.6	—
50～59歳	131	3.1	34.4	41.2	20.6	0.8
60～64歳	87	2.3	29.9	51.7	16.1	—
65～69歳	72	6.9	44.4	40.3	4.2	4.2
70～74歳	104	7.7	42.3	35.6	12.5	1.9
75歳以上	239	11.3	52.7	25.5	7.9	2.5

### 問9-1 近所づきあいがあまりないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事などで忙しく、つきあう時間がないため」の割合が46.1%と最も高く、次いで「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が38.4%、「つきあう必要性を感じないため」の割合が31.5%となっています。

回答者数 = 505

- つきあう必要性を感じないため
- 仕事などで忙しく、つきあう時間がないため
- 隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため
- 隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため
- 家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいが難しいため
- 病气、障がいがあるなどでつきあうことが難しいため
- 転居して間もないため
- その他
- 無回答



【年齢別】

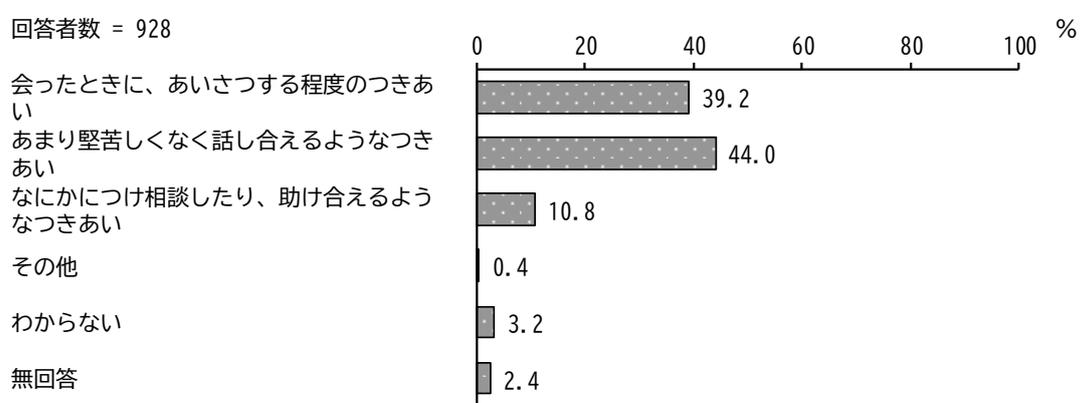
年齢別にみると、69歳までは「仕事などで忙しく、つきあう時間がないため」の割合が高く、70歳以上は「つきあう必要性を感じないため」、「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が高い傾向にあります。

単位：%

区分	回答者数(件)	つきあう必要性を感じないため	仕事などで忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいが難しいため	病気、障がいがあるなどでつきあうことが難しいため	転居して間もないため	その他	無回答
全体	505	31.5	46.1	38.4	15.8	22.4	6.3	4.6	5.3	1.4
18、19歳	5	60.0	40.0	60.0	—	20.0	—	—	—	—
20～29歳	53	32.1	58.5	37.7	22.6	26.4	5.7	13.2	3.8	—
30～39歳	61	24.6	63.9	57.4	11.5	23.0	3.3	6.6	3.3	—
40～49歳	81	39.5	58.0	39.5	24.7	23.5	2.5	3.7	1.2	—
50～59歳	81	28.4	69.1	35.8	18.5	25.9	2.5	3.7	3.7	1.2
60～64歳	59	32.2	44.1	37.3	10.2	23.7	10.2	1.7	3.4	1.7
65～69歳	32	37.5	37.5	25.0	18.8	21.9	3.1	3.1	—	—
70～74歳	50	40.0	30.0	38.0	14.0	14.0	6.0	4.0	4.0	2.0
75歳以上	80	22.5	3.8	28.8	8.8	20.0	16.3	2.5	18.8	5.0

問10 あなたは今後、ご近所との関わりをどのようにしたいですか。(○は1つだけ)

「あまり堅苦しくなく話し合えるようなつきあい」の割合が44.0%と最も高く、次いで「会ったときに、あいさつする程度のつきあい」の割合が39.2%、「なにかにつけ相談したり、助け合えるようなつきあい」の割合が10.8%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、49歳までは「会ったときに、あいさつする程度のつきあい」の割合が高く、50歳以上は「あまり堅苦しくなく話し合えるようなつきあい」の割合が高い傾向にあります。

単位：%

区分	回答者数(件)	会ったときに、あいさつする程度のつきあい	あまり堅苦しくなく話し合えるようなつきあい	なにかにつけ相談したり、助け合えるようなつきあい	その他	わからない	無回答
全体	928	39.2	44.0	10.8	0.4	3.2	2.4
18、19歳	8	75.0	12.5	—	—	12.5	—
20～29歳	65	60.0	27.7	6.2	3.1	3.1	—
30～39歳	85	48.2	36.5	4.7	1.2	5.9	3.5
40～49歳	127	45.7	42.5	7.1	—	3.9	0.8
50～59歳	131	44.3	45.0	5.3	—	2.3	3.1
60～64歳	87	43.7	43.7	8.0	—	4.6	—
65～69歳	72	31.9	51.4	12.5	—	—	4.2
70～74歳	104	26.9	55.8	10.6	—	3.8	2.9
75歳以上	239	28.0	45.6	20.1	0.4	2.5	3.3

【地域別】

地域別にみると、他に比べ、南部・東部地区で「会ったときに、あいさつする程度のつきあい」の割合が高く、西部・北部地区で「あまり堅苦しくなく話し合えるようなつきあい」の割合が高くなっています。

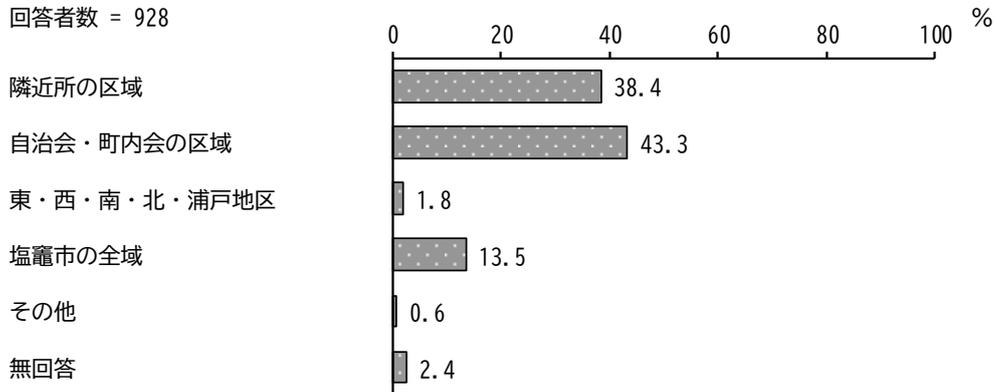
単位：%

区分	回答者数(件)	会ったときに、あいさつする程度のつきあい	あまり堅苦しくなく話し合えるようなつきあい	なにかにつけ相談したり、助け合えるようなつきあい	その他	わからない	無回答
全体	928	39.2	44.0	10.8	0.4	3.2	2.4
東部地区	129	41.1	39.5	15.5	—	0.8	3.1
西部地区	274	37.6	46.0	9.5	0.4	4.4	2.2
南部地区	115	49.6	37.4	9.6	—	1.7	1.7
北部地区	396	36.6	46.0	10.4	0.8	3.8	2.5
浦戸地区	2	—	50.0	50.0	—	—	—

問 11 日常生活上、「地域で助け合う」ということを意識した場合、あなたの考える「地域」とは、次のどの範囲ですか。(○は1つだけ)

「自治会・町内会の区域」の割合が43.3%と最も高く、次いで「隣近所の区域」の割合が38.4%、「塩竈市の全域」の割合が13.5%となっています。

回答者数 = 928



【年齢別】

年齢別にみると、39歳までは「隣近所の区域」の割合が高く、30歳以上では「自治会・町内会の区域」の割合が高くなっている傾向にあります。

単位：%

区分	回答者数(件)	隣近所の区域	自治会・町内会の区域	東・西・南・北・浦戸地区	塩竈市の全域	その他	無回答
全体	928	38.4	43.3	1.8	13.5	0.6	2.4
18、19歳	8	50.0	25.0	—	12.5	—	12.5
20～29歳	65	40.0	36.9	1.5	21.5	—	—
30～39歳	85	40.0	40.0	1.2	18.8	—	—
40～49歳	127	35.4	40.9	2.4	18.9	1.6	0.8
50～59歳	131	33.6	44.3	1.5	16.8	1.5	2.3
60～64歳	87	36.8	49.4	1.1	11.5	1.1	—
65～69歳	72	34.7	50.0	2.8	8.3	—	4.2
70～74歳	104	37.5	44.2	2.9	13.5	—	1.9
75歳以上	239	43.5	43.1	1.3	7.5	0.4	4.2

【地域別】

地域別にみると、大きな差はみられません。

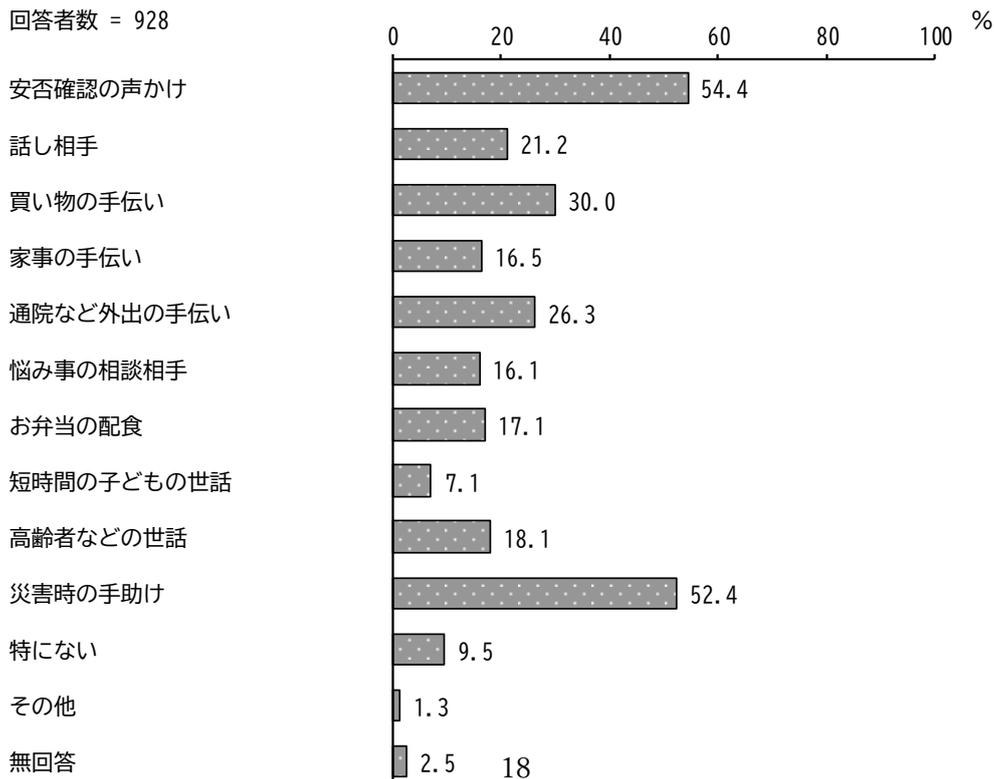
単位：％

区分	回答者数 (件)	隣近所の区域	自治会・町内会の区域	戸東・西・南・北・浦地区	塩竈市の全域	その他	無回答
全体	928	38.4	43.3	1.8	13.5	0.6	2.4
東部地区	129	37.2	45.7	1.6	11.6	0.8	3.1
西部地区	274	37.2	45.6	1.1	11.7	1.1	3.3
南部地区	115	40.0	44.3	2.6	12.2	—	0.9
北部地区	396	38.9	40.7	2.0	16.2	0.5	1.8
浦戸地区	2	—	50.0	50.0	—	—	—

問 12 あなたやご家族が、高齢や病気、または子育てなどで日常生活が不自由になった時、地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「安否確認の声かけ」の割合が 54.4%と最も高く、次いで「災害時の手助け」の割合が 52.4%、「買い物の手伝い」の割合が 30.0%となっています。

回答者数 = 928



【年齢別】

年齢別にみると、全年齢で「安否確認の声かけ」「災害時の手助け」の割合が高い傾向となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	安否確認の声かけ	話し相手	買い物の手伝い	家事の手伝い	通院など外出の手伝い	悩み事の相談相手	お弁当の配食	世話	短時間の子ども	高齢者などの世話	災害時の手助け	特にない	その他	無回答
全体	928	54.4	21.2	30.0	16.5	26.3	16.1	17.1	7.1	18.1	52.4	9.5	1.3	2.5	
18、19歳	8	—	12.5	37.5	12.5	62.5	12.5	25.0	12.5	—	37.5	12.5	—	—	
20～29歳	65	49.2	23.1	32.3	13.8	27.7	24.6	18.5	15.4	16.9	66.2	3.1	—	1.5	
30～39歳	85	50.6	20.0	31.8	20.0	21.2	21.2	23.5	22.4	15.3	49.4	7.1	1.2	—	
40～49歳	127	48.8	19.7	31.5	18.9	32.3	18.1	22.8	15.7	24.4	52.0	9.4	0.8	1.6	
50～59歳	131	55.7	21.4	25.2	18.3	35.9	15.3	16.8	6.9	28.2	52.7	9.2	2.3	0.8	
60～64歳	87	56.3	16.1	24.1	10.3	20.7	10.3	12.6	3.4	12.6	52.9	17.2	1.1	—	
65～69歳	72	63.9	18.1	33.3	13.9	22.2	20.8	25.0	1.4	11.1	51.4	11.1	1.4	4.2	
70～74歳	104	52.9	25.0	33.7	12.5	24.0	6.7	14.4	2.9	9.6	51.9	11.5	1.9	2.9	
75歳以上	239	59.4	23.4	30.5	18.8	22.6	16.3	12.6	—	19.2	51.5	7.5	1.3	5.0	

【地域別】

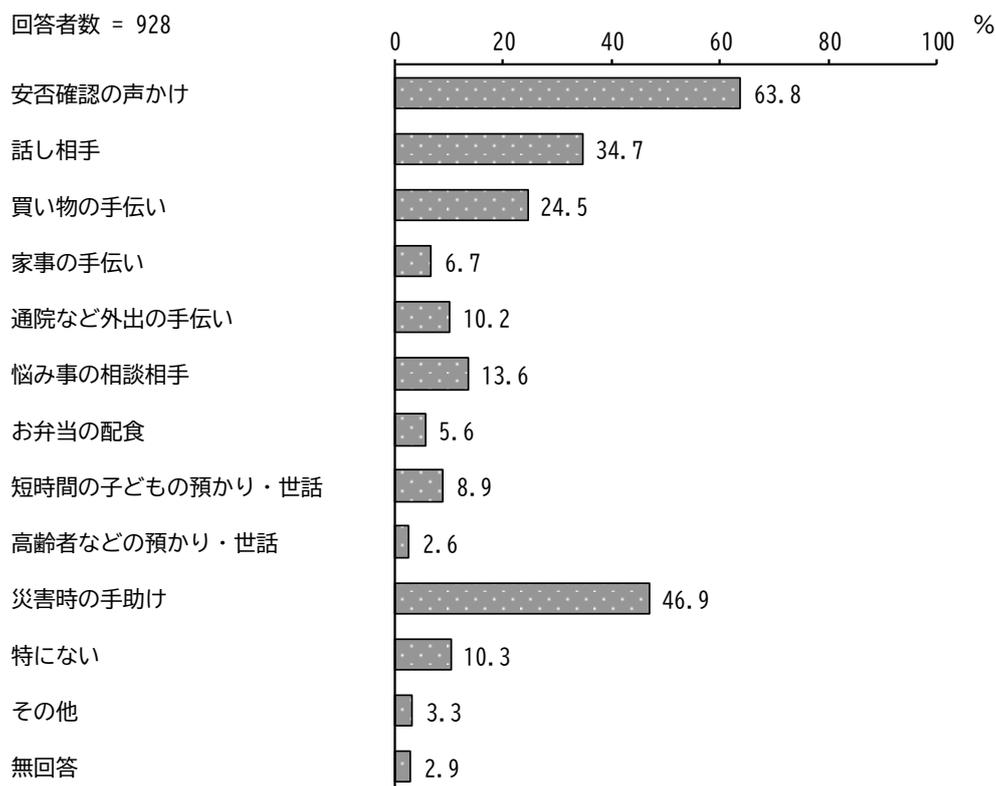
地域別にみると、東部地区で「買い物の手伝い」割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	安否確認の声かけ	話し相手	買い物の手伝い	家事の手伝い	通院など外出の手伝い	悩み事の相談相手	お弁当の配食	世話	短時間の子ども	高齢者などの世話	災害時の手助け	特にない	その他	無回答
全体	928	54.4	21.2	30.0	16.5	26.3	16.1	17.1	7.1	18.1	52.4	9.5	1.3	2.5	
東部地区	129	50.4	23.3	24.0	16.3	22.5	17.1	14.7	8.5	15.5	55.8	10.1	2.3	3.1	
西部地区	274	56.6	23.4	29.9	17.9	25.5	15.0	17.2	8.4	17.5	51.1	10.6	1.5	2.9	
南部地区	115	52.2	18.3	32.2	18.3	27.8	16.5	20.9	5.2	13.9	53.9	11.3	0.9	0.9	
北部地区	396	55.6	20.5	31.3	14.4	27.8	16.7	17.4	6.6	20.7	52.5	7.8	1.0	2.3	
浦戸地区	2	50.0	—	50.0	100.0	100.0	—	—	—	—	50.0	—	—	—	

問13 隣近所に、高齢者や障がいのある人、子育てなどで困っている世帯があったら、あなたはどのような手助けができますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「安否確認の声かけ」の割合が63.8%と最も高く、次いで「災害時の手助け」の割合が46.9%、「話し相手」の割合が34.7%となっています。



### 【年齢別】

年齢別にみると、全年齢で「安否確認の声かけ」「災害時の手助け」の割合が高い傾向となっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	安否確認の声かけ	話し相手	買い物の手伝い	家事の手伝い	伝い 通院など外出の手	悩み事の相談相手	お弁当の配食	預かり・世話 短時間の子ども	高齢者などの預か り・世話	災害時の手助け	特 に ない	その他	無回答
全 体	928	63.8	34.7	24.5	6.7	10.2	13.6	5.6	8.9	2.6	46.9	10.3	3.3	2.9
18、19 歳	8	12.5	12.5	12.5	—	12.5	—	12.5	25.0	—	12.5	50.0	—	—
20～29 歳	65	55.4	33.8	18.5	7.7	10.8	18.5	—	13.8	1.5	64.6	3.1	3.1	—
30～39 歳	85	57.6	31.8	25.9	9.4	10.6	16.5	7.1	20.0	4.7	41.2	11.8	2.4	1.2
40～49 歳	127	66.1	32.3	30.7	6.3	15.0	15.0	7.1	15.0	2.4	54.3	9.4	0.8	1.6
50～59 歳	131	70.2	30.5	24.4	3.8	8.4	11.5	6.9	6.1	0.8	51.9	11.5	3.1	1.5
60～64 歳	87	69.0	36.8	32.2	9.2	10.3	6.9	6.9	8.0	1.1	57.5	12.6	—	—
65～69 歳	72	70.8	27.8	29.2	6.9	13.9	18.1	8.3	8.3	2.8	48.6	6.9	1.4	5.6
70～74 歳	104	63.5	41.3	25.0	4.8	6.7	9.6	2.9	4.8	1.0	44.2	10.6	1.0	2.9
75 歳以上	239	62.3	38.9	18.4	7.5	8.8	15.1	5.0	4.2	4.6	35.6	10.0	7.5	5.4

### 【地域別】

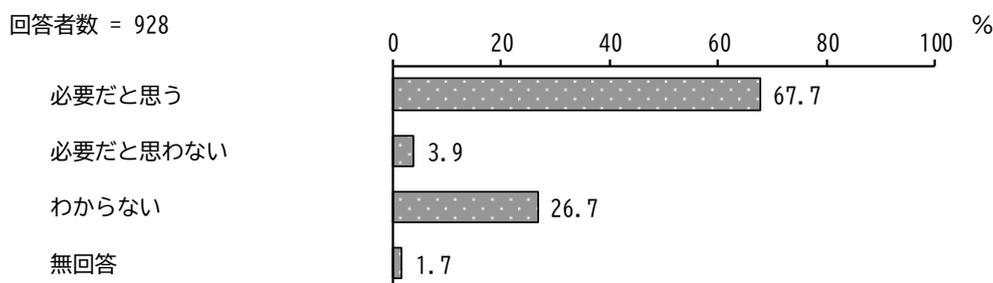
地域別にみると、他に比べ、東部地区で「災害時の手助け」「悩み事の相談相手」が高くなっています。また、他に比べ、南部地区で「話し相手」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	安否確認の声かけ	話し相手	買い物の手伝い	家事の手伝い	伝い 通院など外出の手	悩み事の相談相手	お弁当の配食	預かり・世話 短時間の子ども	高齢者などの預か り・世話	災害時の手助け	特 に ない	その他	無回答
全 体	928	63.8	34.7	24.5	6.7	10.2	13.6	5.6	8.9	2.6	46.9	10.3	3.3	2.9
東部地区	129	63.6	35.7	28.7	6.2	10.9	18.6	6.2	10.1	3.1	53.5	8.5	3.1	3.9
西部地区	274	63.1	36.5	21.2	5.1	8.8	12.8	4.0	5.8	2.2	45.6	11.3	2.6	3.3
南部地区	115	65.2	27.0	21.7	7.0	8.7	12.2	2.6	11.3	0.9	43.5	12.2	5.2	1.7
北部地区	396	64.6	35.1	26.3	8.1	11.4	12.9	7.6	10.1	3.0	47.2	9.3	3.0	2.5
浦戸地区	2	100.0	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—	50.0	—	—	—

問 14 あなたは、地域社会での生活で起こる問題に対して、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。(○は1つだけ)

「必要だと思う」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 26.7%となっています。



【年齢別】

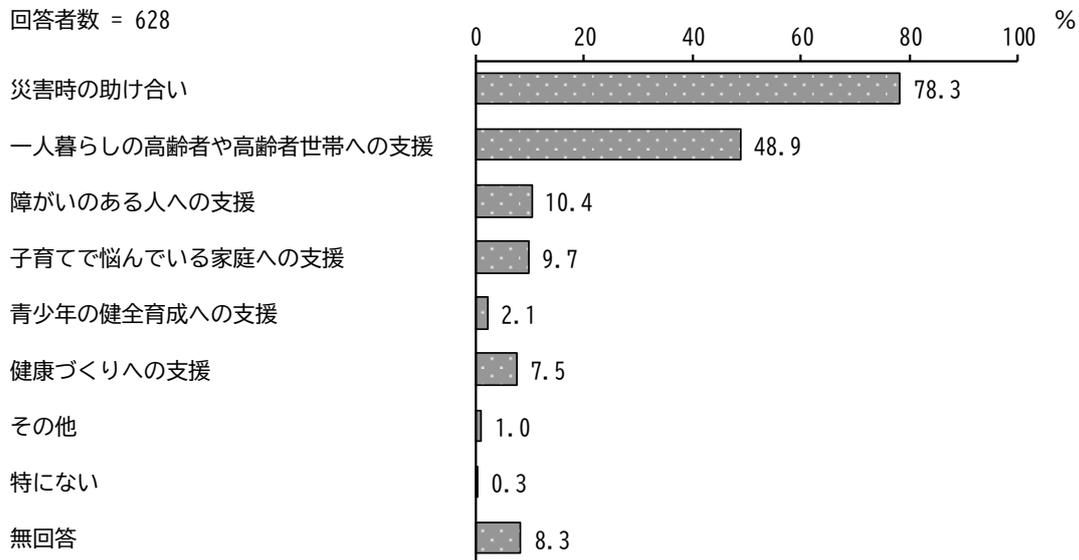
年齢別にみると、20歳以上で「必要だと思う」の割合が高いですが、20歳未満は「わからない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	必要だと思う	必要だと思わない	わからない	無回答
全体	928	67.7	3.9	26.7	1.7
18、19歳	8	37.5	—	62.5	—
20～29歳	65	61.5	1.5	36.9	—
30～39歳	85	57.6	9.4	32.9	—
40～49歳	127	61.4	4.7	33.9	—
50～59歳	131	65.6	6.9	26.7	0.8
60～64歳	87	70.1	2.3	27.6	—
65～69歳	72	72.2	6.9	18.1	2.8
70～74歳	104	77.9	1.9	18.3	1.9
75歳以上	239	72.0	1.3	22.6	4.2

問 14-1 地域の人たちが協力して、取り組んでいくことが特に必要な問題は、  
どのようなことだと思いますか。(〇は2つまで)

「災害時の助け合い」の割合が 78.3%と最も高く、次いで「一人暮らしの高齢者や高齢者世帯への支援」の割合が 48.9%、「障がいのある人への支援」の割合が 10.4%となっています。



【年齢別】

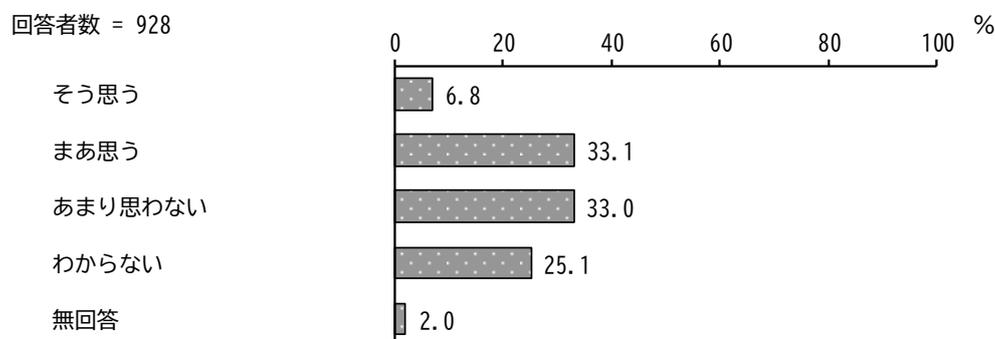
年齢別にみると、全年齢で「災害時の助け合い」、「一人暮らしの高齢者や高齢者世帯への支援」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	災害時の助け合い	一人暮らしの高齢者や高齢者世帯への支援	障がいのある人への支援	子育てで悩んでいる家庭への支援	青少年の健全育成への支援	健康づくりへの支援	その他	特にない	無回答
全 体	628	78.3	48.9	10.4	9.7	2.1	7.5	1.0	0.3	8.3
18、19 歳	3	100.0	66.7	—	—	—	33.3	—	—	—
20～29 歳	40	75.0	27.5	7.5	27.5	—	2.5	2.5	—	10.0
30～39 歳	49	79.6	40.8	10.2	22.4	4.1	2.0	—	—	6.1
40～49 歳	78	80.8	42.3	6.4	17.9	3.8	2.6	2.6	—	9.0
50～59 歳	86	72.1	55.8	14.0	5.8	2.3	4.7	—	1.2	10.5
60～64 歳	61	78.7	49.2	9.8	4.9	3.3	4.9	—	—	9.8
65～69 歳	52	76.9	46.2	15.4	11.5	—	13.5	1.9	—	7.7
70～74 歳	81	81.5	54.3	9.9	4.9	—	7.4	—	—	8.6
75 歳以上	172	79.1	53.5	10.5	4.1	2.3	12.2	1.2	0.6	6.4

問 15 お住まいの地域は、支援が必要な方（障がいのある方や高齢者、子育てをしている方）にとって、安心して生活できる環境だと思いますか。（○は1つだけ）

「まあ思う」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が 33.0%、「わからない」の割合が 25.1%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、全体的に「まあ思う」の割合が高い傾向にありますが、30～69歳では「あまり思わない」の割合が若干高い傾向となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	まあ思う	あまり思わない	わからない	無回答
全 体	928	6.8	33.1	33.0	25.1	2.0
18、19歳	8	—	50.0	12.5	37.5	—
20～29歳	65	3.1	35.4	32.3	29.2	—
30～39歳	85	4.7	35.3	41.2	18.8	—
40～49歳	127	3.9	29.1	44.1	22.8	—
50～59歳	131	6.9	30.5	39.7	22.1	0.8
60～64歳	87	5.7	36.8	26.4	31.0	—
65～69歳	72	5.6	27.8	33.3	30.6	2.8
70～74歳	104	3.8	38.5	27.9	26.9	2.9
75歳以上	239	12.6	32.6	26.8	22.6	5.4

【地域別】

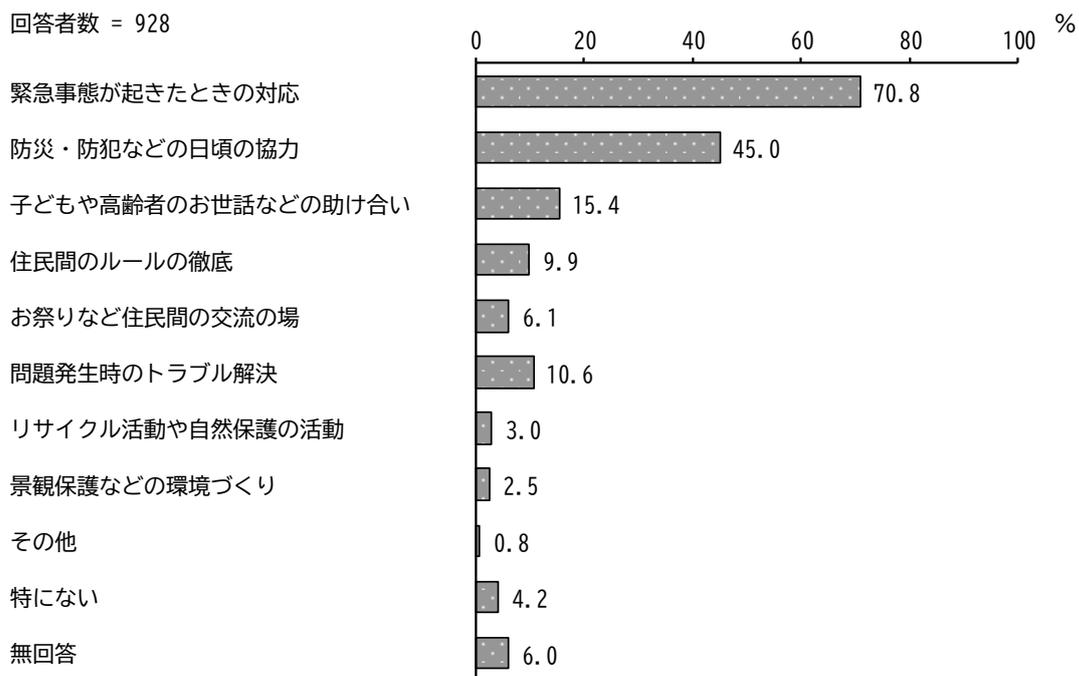
地域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	まあ 思う	あまり 思わない	わ から ない	無 回 答
全 体	928	6.8	33.1	33.0	25.1	2.0
東部地区	129	7.8	31.8	34.9	23.3	2.3
西部地区	274	5.8	31.8	32.8	26.6	2.9
南部地区	115	7.8	35.7	28.7	27.0	0.9
北部地区	396	6.8	34.1	33.8	23.5	1.8
浦戸地区	2	50.0	50.0	—	—	—

問 16 あなたは、地域社会の役割についてどのようなことを期待しますか。  
(○は2つまで)

「緊急事態が起きたときの対応」の割合が70.8%と最も高く、次いで「防災・防犯などの日頃の協力」の割合が45.0%、「子どもや高齢者のお世話などの助け合い」の割合が15.4%となっています。



### 【年齢別】

年齢別にみると、全年齢で「緊急事態が起きたときの対応」「防災・防犯などの日頃の協力」の割合が高い傾向にあります。また、20歳未満では「お祭りなど住民間の交流の場」、「リサイクル活動や自然保護の活動」、「景観保護などの環境づくり」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	緊急事態が起きたときの対応	防災・防犯などの日頃の協力	子どもや高齢者のお世話などの助け合い	住民間のルールの徹底	お祭りなど住民間の交流の場	問題発生時のトラブル解決	リサイクル活動や自然保護の活動	景観保護などの環境づくり	その他	特にない	無回答
全体	928	70.8	45.0	15.4	9.9	6.1	10.6	3.0	2.5	0.8	4.2	6.0
18、19歳	8	50.0	37.5	12.5	—	25.0	—	25.0	25.0	—	12.5	—
20～29歳	65	70.8	49.2	23.1	3.1	6.2	6.2	3.1	4.6	—	3.1	4.6
30～39歳	85	60.0	56.5	18.8	7.1	9.4	11.8	3.5	2.4	1.2	3.5	4.7
40～49歳	127	69.3	44.9	18.9	9.4	6.3	12.6	1.6	3.1	1.6	3.1	5.5
50～59歳	131	78.6	46.6	16.0	9.2	3.1	13.0	1.5	—	2.3	5.3	4.6
60～64歳	87	75.9	41.4	10.3	4.6	8.0	13.8	2.3	2.3	—	3.4	6.9
65～69歳	72	73.6	44.4	13.9	11.1	2.8	9.7	2.8	2.8	—	4.2	5.6
70～74歳	104	75.0	48.1	8.7	9.6	4.8	12.5	6.7	2.9	—	4.8	3.8
75歳以上	239	68.2	40.6	15.9	15.9	7.1	7.5	2.5	2.1	—	4.6	7.5

### 【地域別】

地域別にみると、他に比べ、西部地区で「防災・防犯などの日頃の協力」が高くなっています。また、他に比べ、東部地区で「子どもや高齢者のお世話などの助け合い」「防災・防犯などの日頃の協力」の割合が低くなっています。

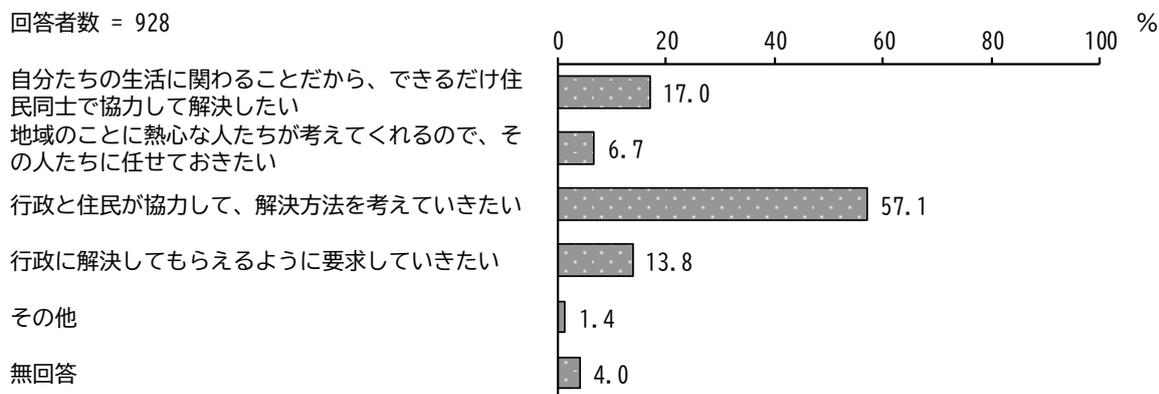
単位：％

区分	回答者数(件)	緊急事態が起きたときの対応	防災・防犯などの日頃の協力	子どもや高齢者のお世話などの助け合い	住民間のルールの徹底	お祭りなど住民間の交流の場	問題発生時のトラブル解決	リサイクル活動や自然保護の活動	景観保護などの環境づくり	その他	特にない	無回答
全体	928	70.8	45.0	15.4	9.9	6.1	10.6	3.0	2.5	0.8	4.2	6.0
東部地区	129	67.4	39.5	9.3	10.9	8.5	14.0	3.9	1.6	—	7.0	7.0
西部地区	274	70.4	50.7	17.2	10.6	4.7	9.1	2.2	2.2	1.5	4.7	4.0
南部地区	115	74.8	48.7	19.1	6.1	4.3	10.4	5.2	3.5	—	4.3	2.6
北部地区	396	72.0	42.9	15.7	10.4	7.1	10.1	2.8	2.8	0.5	3.0	7.1
浦戸地区	2	100.0	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—

問 17 今後、地域の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのがよいと思いますか。(○は1つだけ)

「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」の割合が 17.0%、「行政に解決してもらえるように要求していきたい」の割合が 13.8%となっています。

回答者数 = 928



【年齢別】

年齢別にみると、全体的に「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」の割合が1番高く、その次には59歳以下では「行政に解決してもらえるように要求していきたい」の割合が高く、60歳以上では「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」の割合が高い傾向にあります。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せたい	行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい
全体	928	17.0	6.7	57.1
18、19歳	8	12.5	12.5	75.0
20～29歳	65	12.3	10.8	58.5
30～39歳	85	18.8	2.4	51.8
40～49歳	127	10.2	7.9	58.3
50～59歳	131	9.9	4.6	63.4
60～64歳	87	12.6	3.4	66.7
65～69歳	72	23.6	8.3	59.7
70～74歳	104	15.4	6.7	64.4
75歳以上	239	25.9	7.9	48.1

区分	行政に解決してほしいように要求している	その他	無回答
全体	13.8	1.4	4.0
18、19歳	—	—	—
20～29歳	16.9	—	1.5
30～39歳	24.7	1.2	1.2
40～49歳	21.3	—	2.4
50～59歳	16.0	3.1	3.1
60～64歳	8.0	4.6	4.6
65～69歳	5.6	—	2.8
70～74歳	9.6	1.9	1.9
75歳以上	11.3	0.8	5.9

【地域別】

地域別にみると、大きな差はみられません。

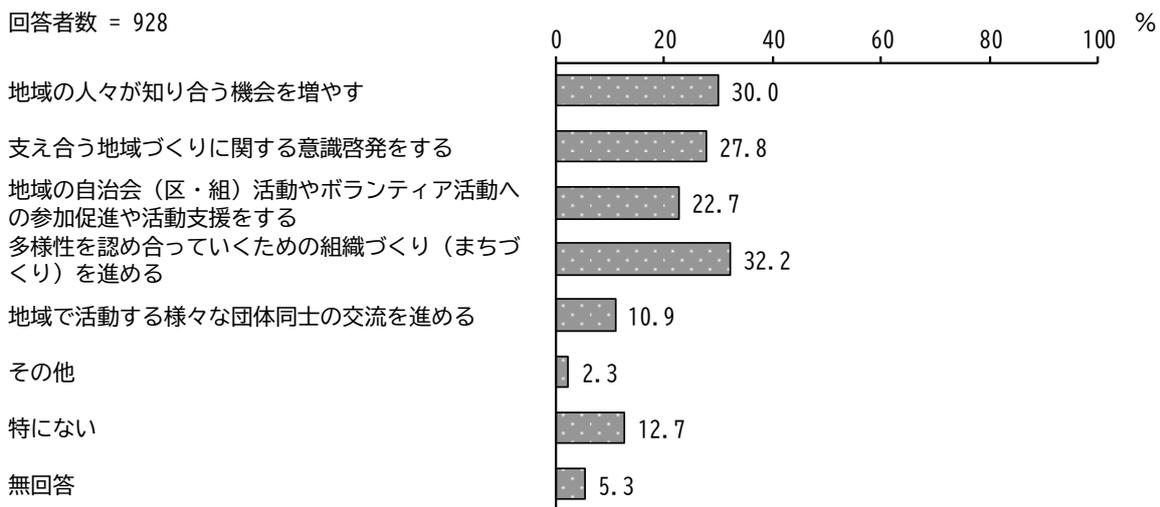
単位：％

区分	回答者数(件)	自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	地域のことに関心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せたい	行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい	行政に解決してもらえないように要求していきたい	その他	無回答
全体	928	17.0	6.7	57.1	13.8	1.4	4.0
東部地区	129	17.1	9.3	53.5	14.7	3.1	2.3
西部地区	274	19.7	4.7	55.5	14.2	2.2	3.6
南部地区	115	15.7	7.0	60.9	14.8	—	1.7
北部地区	396	15.9	7.1	58.8	13.1	0.8	4.3
浦戸地区	2	—	—	100.0	—	—	—

問 18 住民同士が共に支え合う地域づくりを進めるために、塩竈市はどのような支援を行う必要があると思いますか。(○は2つまで)

「多様性を認め合っていくための組織づくり(まちづくり)を進める」の割合が32.2%と最も高く、次いで「地域の人々が知り合う機会を増やす」の割合が30.0%、「支え合う地域づくりに関する意識啓発をする」の割合が27.8%となっています。

回答者数 = 928



【年齢別】

年齢別にみると、全体的には「多様性を認め合っていくための組織づくり（まちづくり）を進める」の割合が一番高く、それ以外の内容についても必要と考える回答の割合が高い傾向にあります。

単位：%

区分	回答者数(件)	地域の人々が知り合う機会を増やす	支え合う地域づくりに関する意識啓発をする	地域の自治会(区・組)活動やボランティア活動への参加促進や活動支援をする	多様性を認め合っていくための組織づくり(まちづくり)を進める	地域で活動する様々な団体同士の交流を進める	その他	特にない	無回答
全 体	928	30.0	27.8	22.7	32.2	10.9	2.3	12.7	5.3
18、19 歳	8	25.0	25.0	25.0	25.0	12.5	—	25.0	—
20～29 歳	65	24.6	12.3	21.5	44.6	18.5	3.1	10.8	1.5
30～39 歳	85	35.3	14.1	16.5	43.5	14.1	2.4	17.6	1.2
40～49 歳	127	22.0	29.9	16.5	46.5	15.0	2.4	10.2	2.4
50～59 歳	131	21.4	39.7	17.6	35.1	3.8	3.1	14.5	3.8
60～64 歳	87	35.6	34.5	23.0	31.0	9.2	—	10.3	4.6
65～69 歳	72	29.2	37.5	25.0	40.3	6.9	4.2	6.9	2.8
70～74 歳	104	31.7	33.7	24.0	23.1	12.5	1.0	12.5	5.8
75 歳以上	239	36.8	22.6	31.0	18.4	10.5	2.5	14.2	8.8

【地域別】

地域別にみると、全体的には「多様性を認め合っていくための組織づくり（まちづくり）を進める」の割合が高い傾向にあり、東部地区では「地域の人々が知り合う機会を増やす」の割合が1番高く、南部地区では「支え合う地域づくりに関する意識啓発をする」割合が1番高くなっています。

単位：%

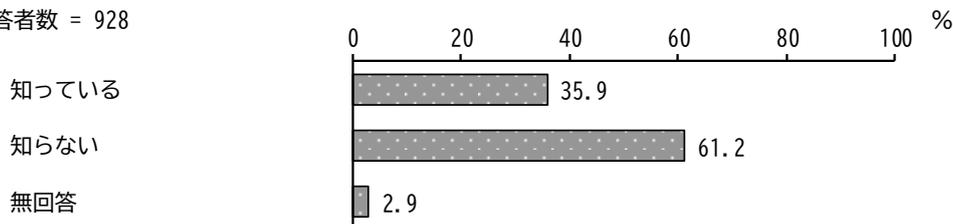
区分	回答者数(件)	地域の人々が知り合う機会を増やす	支え合う地域づくりに関する意識啓発をする	地域の自治会(区・組)活動やボランティア活動への参加促進や活動支援をする	多様性を認め合っていくための組織づくり(まちづくり)を進める	地域で活動する様々な団体同士との交流を進める	その他	特になし	無回答
全体	928	30.0	27.8	22.7	32.2	10.9	2.3	12.7	5.3
東部地区	129	38.0	33.3	18.6	29.5	9.3	1.6	12.4	3.9
西部地区	274	30.3	24.1	25.2	34.3	11.7	2.2	11.7	4.7
南部地区	115	26.1	33.9	20.0	29.6	10.4	1.7	18.3	2.6
北部地区	396	29.0	27.3	23.7	32.8	10.9	2.8	12.1	5.3
浦戸地区	2	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0

(4) 地域での活動（町内会・自治会やボランティア、市民活動など）について

問 19 あなたがお住まいの地域の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。  
(○は1つだけ)

「知っている」の割合が 35.9%、「知らない」の割合が 61.2%となっています。

回答者数 = 928



### 【年齢別】

年齢別にみると、全体的に「知らない」の割合が高いですが、年齢が高くなるにつれ認知度が上がってきております。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	928	35.9	61.2	2.9
18、19 歳	8	—	100.0	—
20～29 歳	65	6.2	90.8	3.1
30～39 歳	85	12.9	85.9	1.2
40～49 歳	127	15.0	82.7	2.4
50～59 歳	131	27.5	70.2	2.3
60～64 歳	87	37.9	59.8	2.3
65～69 歳	72	41.7	55.6	2.8
70～74 歳	104	45.2	52.9	1.9
75 歳以上	239	63.2	33.5	3.3

### 【地域別】

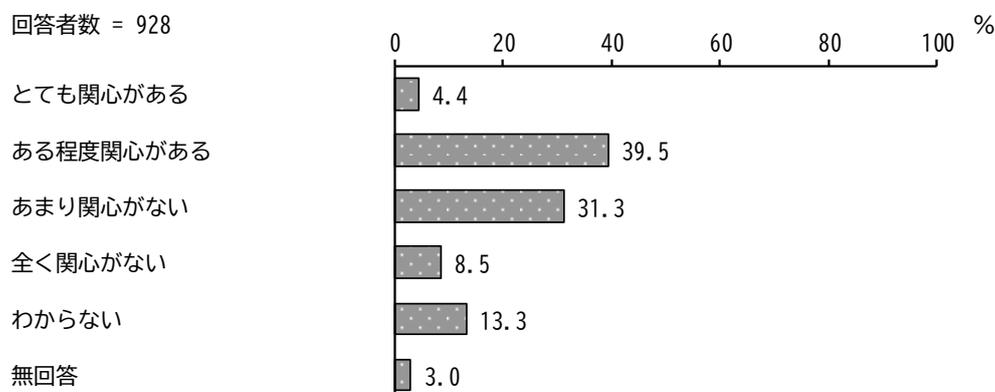
地域別にみると、他に比べ、南部地区で「知っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	928	35.9	61.2	2.9
東部地区	129	36.4	62.8	0.8
西部地区	274	34.7	62.4	2.9
南部地区	115	41.7	56.5	1.7
北部地区	396	35.1	62.1	2.8
浦戸地区	2	100.0	—	—

問 20 あなたは、「地域での福祉活動（ボランティア活動など）」に関心がありますか。  
（○は1つだけ）

「ある程度関心がある」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「あまり関心がない」の割合が 31.3%、「わからない」の割合が 13.3%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、59歳以下は「あまり関心がない」の割合が高いですが、60歳以上は「ある程度関心がある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	わからない	無回答
全 体	928	4.4	39.5	31.3	8.5	13.3	3.0
18、19歳	8	—	25.0	50.0	12.5	12.5	—
20～29歳	65	3.1	27.7	36.9	18.5	12.3	1.5
30～39歳	85	—	24.7	47.1	14.1	12.9	1.2
40～49歳	127	1.6	29.1	35.4	20.5	11.0	2.4
50～59歳	131	0.8	35.1	39.7	12.2	9.9	2.3
60～64歳	87	2.3	42.5	33.3	1.1	19.5	1.1
65～69歳	72	4.2	47.2	34.7	2.8	8.3	2.8
70～74歳	104	6.7	51.0	27.9	4.8	7.7	1.9
75歳以上	239	9.6	49.0	16.7	1.7	18.4	4.6

【地域別】

地域別にみると、全体的に「ある程度関心がある」の割合が高くなっています。

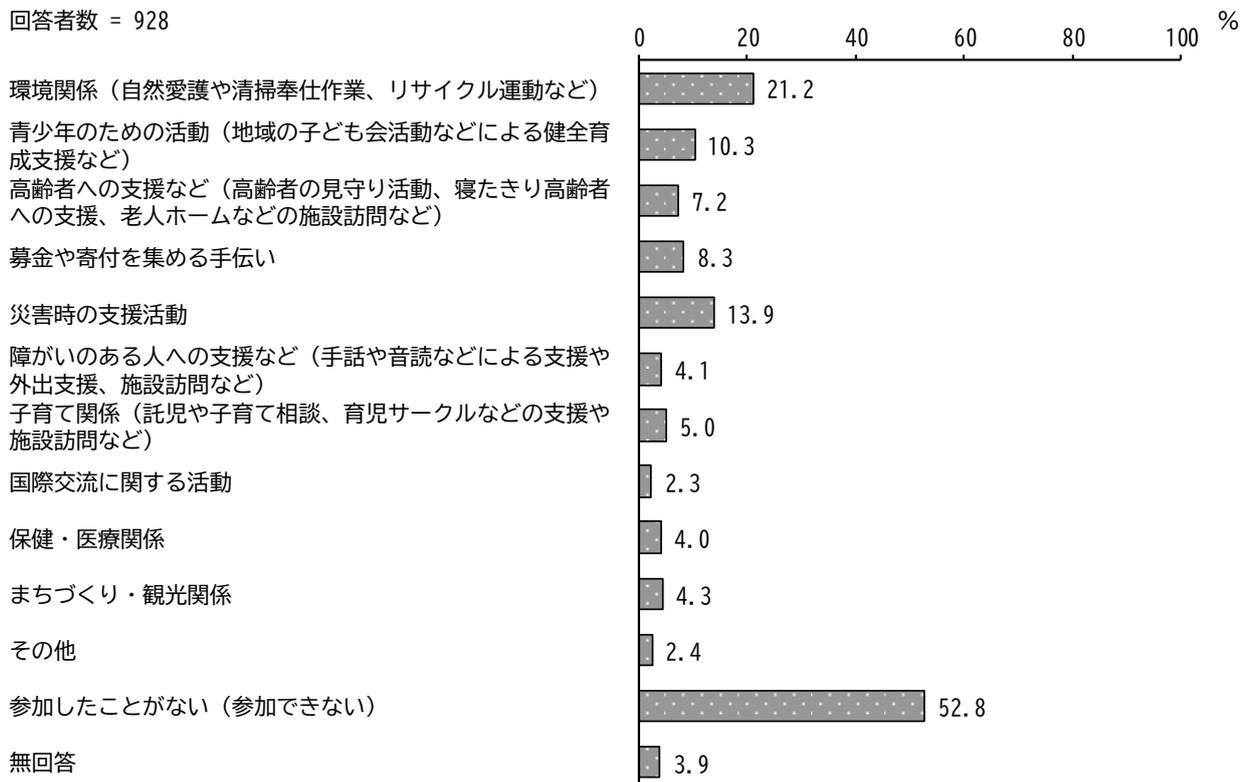
単位：％

区分	回答者数(件)	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	わからない	無回答
全体	928	4.4	39.5	31.3	8.5	13.3	3.0
東部地区	129	6.2	37.2	32.6	9.3	12.4	2.3
西部地区	274	4.7	40.1	32.5	8.4	11.7	2.6
南部地区	115	4.3	42.6	27.0	6.1	18.3	1.7
北部地区	396	3.5	39.4	31.8	9.3	13.1	2.8
浦戸地区	2	—	50.0	50.0	—	—	—

問 21 ボランティア、NPO、地域活動で参加している分野、または参加したことがある分野は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「参加したことがない(参加できない)」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「環境関係(自然愛護や清掃奉仕作業、リサイクル運動など)」の割合が 21.2%、「災害時の支援活動」の割合が 13.9%となっています。

回答者数 = 928



【年齢別】

年齢別にみると、全体的に「参加したことがない（参加できない）」の割合が高くなっていますが、その次には「環境関係（自然愛護や清掃奉仕作業、リサイクル運動など）」の割合が高く、「青少年のための活動（地域の子ども会活動などによる健全育成支援など）」「災害時の支援活動」についても、参加したことがある市民がある程度いることが分かります。

単位：%

区分	回答者数（件）	環境関係（自然愛護や清掃奉仕作業、リサイクル運動など）	青少年のための活動（地域の子ども会活動などによる健全育成支援など）	高齢者への支援など（高齢者の見守り活動、寝たきり高齢者への支援、老人ホームなどの施設訪問など）	募金や寄付を集める手伝い	災害時の支援活動	障がいのある人への支援など（手話や音読などによる支援や外出支援、施設訪問など）
全 体	928	21.2	10.3	7.2	8.3	13.9	4.1
18、19 歳	8	12.5	12.5	—	—	—	—
20～29 歳	65	18.5	6.2	10.8	7.7	13.8	1.5
30～39 歳	85	11.8	2.4	3.5	5.9	8.2	7.1
40～49 歳	127	22.0	13.4	5.5	3.1	8.7	3.1
50～59 歳	131	24.4	18.3	2.3	11.5	16.0	3.1
60～64 歳	87	18.4	13.8	2.3	4.6	11.5	3.4
65～69 歳	72	25.0	11.1	9.7	11.1	13.9	2.8
70～74 歳	104	26.0	8.7	8.7	6.7	20.2	5.8
75 歳以上	239	21.3	7.5	11.7	11.3	16.7	4.6

区分	子育て関係（託児や子育て相談、育児サークルなどの支援や施設訪問など）	国際交流に関する活動	保健・医療関係	まちづくり・観光関係	その他	参加したことがない（参加できない）	無回答
全 体	5.0	2.3	4.0	4.3	2.4	52.8	3.9
18、19 歳	—	—	—	—	—	75.0	12.5
20～29 歳	6.2	4.6	1.5	1.5	3.1	53.8	4.6
30～39 歳	8.2	3.5	3.5	5.9	1.2	63.5	1.2
40～49 歳	11.8	1.6	3.1	3.9	0.8	55.9	2.4
50～59 歳	3.8	3.1	3.1	2.3	1.5	51.1	2.3
60～64 歳	3.4	2.3	3.4	3.4	3.4	57.5	1.1
65～69 歳	4.2	—	4.2	2.8	1.4	48.6	5.6
70～74 歳	2.9	1.9	7.7	4.8	1.9	50.0	1.9
75 歳以上	2.5	1.7	4.6	6.7	3.8	49.0	6.3

【地域別】

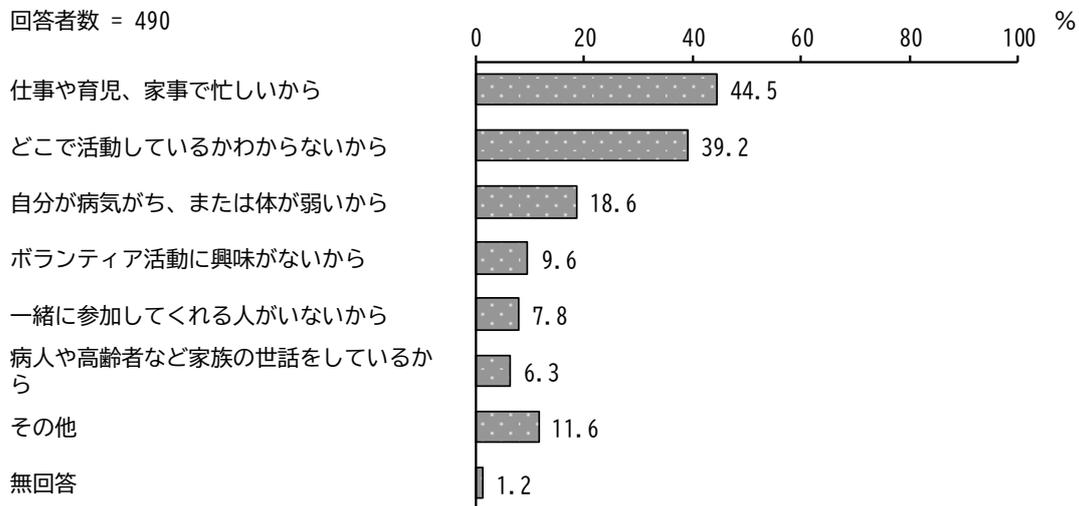
地域別にみると、他に比べ、東部地区での「災害時の支援活動」、「募金や寄付を集める手伝い」の割合が突出しており、南部地区では「環境関係（自然愛護や清掃奉仕作業、リサイクル運動など）」の割合が低く、西部地区で「災害時の支援活動」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	環境関係（自然愛護や清掃奉仕作業、リサイクル運動など）	青少年のための活動（地域の子ども会活動などによる健全育成支援など）	高齢者への支援など（高齢者の見守り活動、寝たきり高齢者への支援、老人ホームなどの施設訪問など）	募金や寄付を集める手伝い	災害時の支援活動	障がいのある人への支援など（手話や音読などによる支援や外出支援、施設訪問など）	子育て関係（託児や子育て相談、育児サークルなどの支援や施設訪問など）	国際交流に関する活動	保健・医療関係	まちづくり・観光関係	その他	参加したことがない（参加できない）	無回答
全体	928	21.2	10.3	7.2	8.3	13.9	4.1	5.0	2.3	4.0	4.3	2.4	52.8	3.9
東部地区	129	24.0	16.3	8.5	14.0	27.1	7.0	5.4	1.6	5.4	6.2	2.3	45.0	3.1
西部地区	274	23.4	10.6	6.9	5.8	8.0	3.6	3.6	0.7	3.6	5.5	2.2	55.1	3.6
南部地区	115	14.8	5.2	4.3	9.6	16.5	4.3	6.1	3.5	5.2	0.9	1.7	59.1	3.5
北部地区	396	21.0	10.1	7.8	7.6	13.4	3.5	5.6	3.0	3.5	4.0	2.5	52.3	3.5
浦戸地区	2	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—

問 21-1 どのような理由で参加しない（できない）のですか。  
（あてはまるものすべてに○）

「仕事や育児、家事で忙しいから」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「どこで活動しているかわからないから」の割合が 39.2%、「自分が病気がち、または体が弱いから」の割合が 18.6%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、64歳以下では「仕事や育児、家事で忙しいから」の割合が高い傾向にあり、65～74歳では「どこで活動しているかわからないから」の割合が高く、75歳以上では「自分は病気がち、または体が弱いから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事や育児、家事で忙しいから	どこで活動しているかわからないから	自分が病気がち、または体が弱いから	ボランティア活動に興味がないから	一緒に参加してくれる人がいないから	病人や高齢者など家族の世話をしているから	その他	無回答
全体	490	44.5	39.2	18.6	9.6	7.8	6.3	11.6	1.2
18、19歳	6	—	33.3	—	33.3	50.0	—	—	—
20～29歳	35	68.6	54.3	8.6	11.4	14.3	—	8.6	—
30～39歳	54	72.2	48.1	7.4	11.1	3.7	7.4	7.4	—
40～49歳	71	74.6	38.0	8.5	15.5	5.6	11.3	4.2	—
50～59歳	67	65.7	40.3	3.0	11.9	6.0	10.4	6.0	—
60～64歳	50	48.0	44.0	20.0	6.0	8.0	4.0	6.0	—
65～69歳	35	28.6	45.7	20.0	8.6	8.6	5.7	11.4	2.9
70～74歳	52	28.8	48.1	28.8	5.8	9.6	3.8	11.5	1.9
75歳以上	117	6.8	23.1	36.8	6.0	6.8	5.1	25.6	3.4

【地域別】

地域別にみると、他に比べ、東部地区で「どこで活動しているかわからないから」の割合が高く、西部地区で「仕事や育児、家事で忙しいから」の割合が高くなっています。

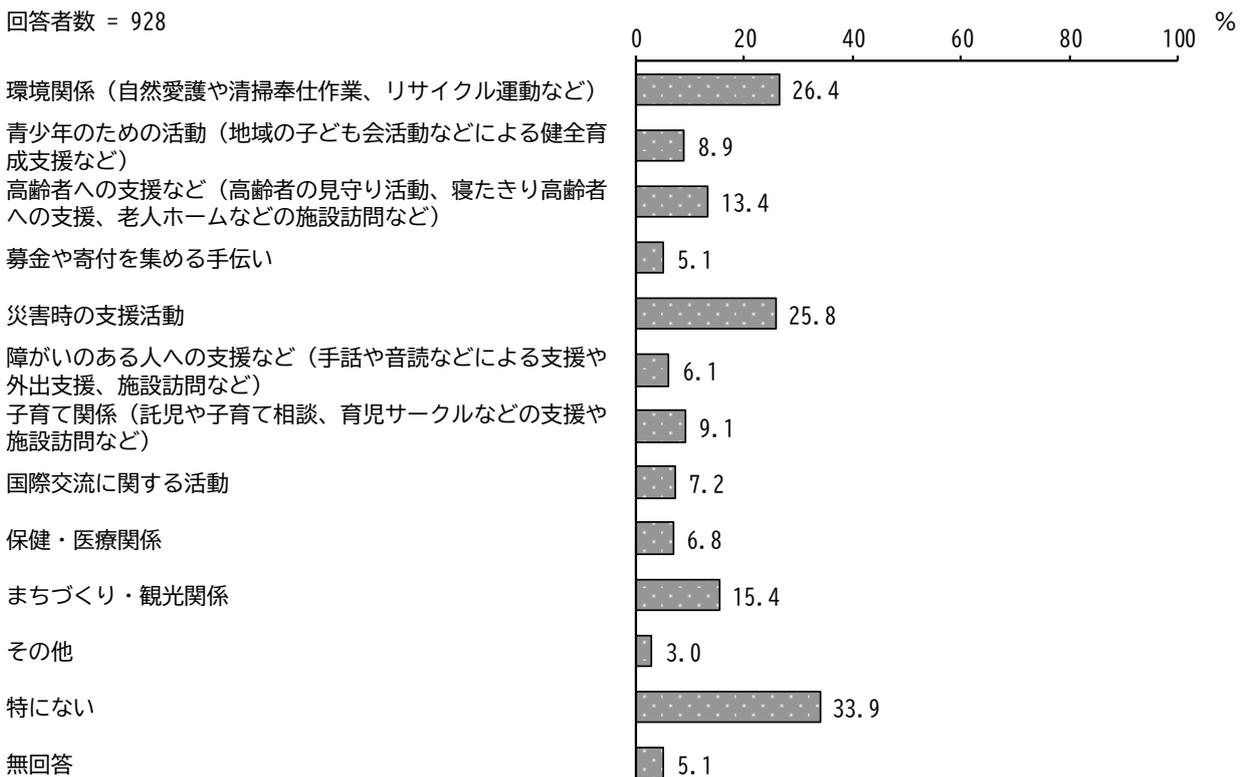
単位：％

区分	回答者数(件)	仕事や育児、家事で忙しいから	どこで活動しているかわからないから	自分が病気がち、または体が弱いから	ボランティア活動に興味がないから	一緒に参加してくれる人がいないから	病人や高齢者など家族の世話をしているから	その他	無回答
全体	490	44.5	39.2	18.6	9.6	7.8	6.3	11.6	1.2
東部地区	58	44.8	51.7	10.3	13.8	6.9	3.4	12.1	—
西部地区	151	51.7	40.4	21.2	8.6	9.3	7.9	7.3	—
南部地区	68	42.6	36.8	20.6	8.8	7.4	4.4	11.8	2.9
北部地区	207	40.1	35.7	17.9	9.7	6.8	6.8	15.0	1.9
浦戸地区	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—

問 22 あなたは、地域で行われている以下の活動の中で、機会があれば参加したいものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「特にない」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「環境関係（自然愛護や清掃奉仕作業、リサイクル運動など）」の割合が 26.4%、「災害時の支援活動」の割合が 25.8%となっています。

回答者数 = 928



【年齢別】

年齢別にみると、全体的には「特にない」の割合が高い傾向となっていますが、「環境関係（自然愛護や清掃奉仕作業、リサイクル運動など）」、「災害時の支援活動」、「まちづくり・観光関係」、もある程度の割合があります。

また、他の年代に比べて20～49歳で「子育て関係（託児や子育て相談、育児サークルなどの支援や施設訪問など）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	環境関係（自然愛護や清掃奉仕作業、リサイクル運動など）	青少年のための活動（地域の子ども会活動などによる健全育成支援など）	高齢者への支援など（高齢者の見守り活動、寝たきり高齢者への支援、老人ホームなどの施設訪問など）	募金や寄付を集める手伝い	災害時の支援活動	障がいのある人への支援など（手話や音読などによる支援や外出支援、施設訪問など）
全体	928	26.4	8.9	13.4	5.1	25.8	6.1
18、19歳	8	50.0	—	—	12.5	50.0	—
20～29歳	65	23.1	12.3	13.8	1.5	26.2	10.8
30～39歳	85	17.6	11.8	4.7	4.7	17.6	5.9
40～49歳	127	20.5	12.6	8.7	3.1	31.5	6.3
50～59歳	131	24.4	9.2	16.0	4.6	26.7	6.9
60～64歳	87	31.0	9.2	9.2	3.4	28.7	4.6
65～69歳	72	27.8	5.6	11.1	6.9	33.3	4.2
70～74歳	104	30.8	6.7	13.5	5.8	29.8	7.7
75歳以上	239	30.1	7.5	20.1	7.1	19.2	5.0

区分	子育て関係（託児や子育て相談、育児サークルなどの支援や施設訪問など）	国際交流に関する活動	保健・医療関係	まちづくり・観光関係	その他	特にない	無回答
全体	9.1	7.2	6.8	15.4	3.0	33.9	5.1
18、19歳	—	25.0	—	25.0	—	25.0	—
20～29歳	16.9	9.2	7.7	16.9	1.5	30.8	—
30～39歳	25.9	9.4	8.2	20.0	4.7	32.9	2.4
40～49歳	18.9	12.6	6.3	22.8	2.4	33.9	2.4
50～59歳	6.9	6.9	11.5	20.6	2.3	37.4	2.3
60～64歳	8.0	6.9	1.1	16.1	2.3	35.6	3.4
65～69歳	6.9	6.9	6.9	12.5	—	37.5	2.8
70～74歳	1.9	5.8	5.8	9.6	1.9	29.8	9.6
75歳以上	1.7	3.3	6.7	9.6	4.6	34.3	9.2

【地域別】

地域別にみると、他に比べ、東部地区で「まちづくり・観光関係」が高くなっています。また、西部地区で「災害時の支援活動」の割合が、南部地区で「まちづくり・観光関係」の割合が低くなっています。

単位：％

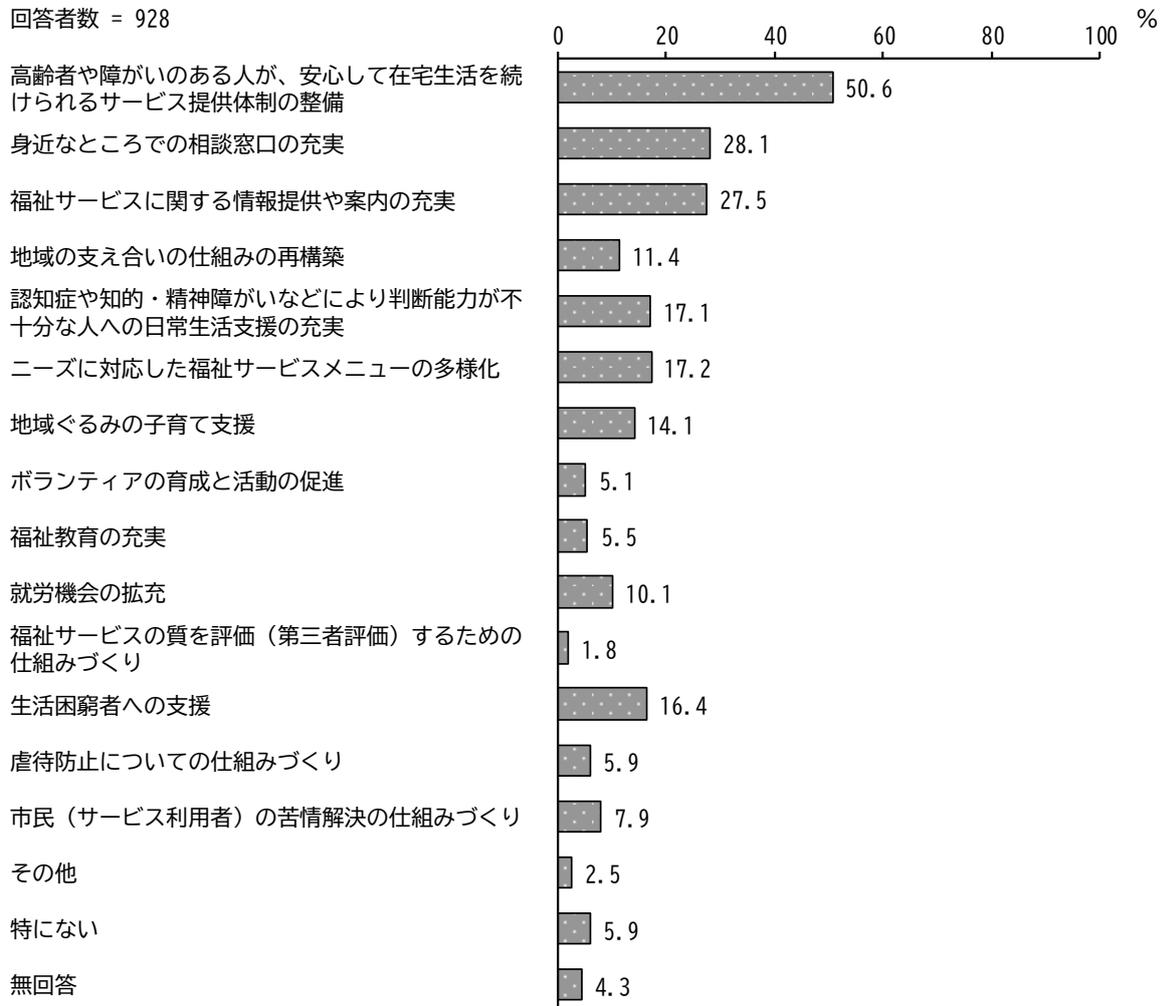
区分	回答者数(件)	環境関係(自然愛護や清掃奉仕作業、リサイクル運動など)	青少年のための活動(地域の子ども会活動などによる健全育成支援など)	高齢者への支援など(高齢者の見守り活動、寝たきり高齢者への支援、老人ホームなどの施設訪問など)	募金や寄付を集める手伝い	災害時の支援活動	障がいのある人への支援など(手話や音読などによる支援や外出支援、施設訪問など)
全体	928	26.4	8.9	13.4	5.1	25.8	6.1
東部地区	129	28.7	9.3	17.1	7.8	29.5	7.8
西部地区	274	26.3	12.4	13.9	2.9	20.4	5.8
南部地区	115	25.2	7.8	12.2	5.2	23.5	7.0
北部地区	396	26.3	6.8	12.1	5.6	29.0	5.3
浦戸地区	2	—	—	—	—	50.0	—

区分	子育て関係(託児や子育て相談、育児サークルなどの支援や施設訪問など)	国際交流に関する活動	保健・医療関係	まちづくり・観光関係	その他	特にない	無回答
全体	9.1	7.2	6.8	15.4	3.0	33.9	5.1
東部地区	10.1	5.4	7.0	20.9	4.7	33.3	4.7
西部地区	11.7	7.3	8.0	14.2	2.2	32.8	5.1
南部地区	5.2	8.7	5.2	10.4	0.9	40.0	3.5
北部地区	8.1	7.3	6.6	16.2	3.3	33.8	5.1
浦戸地区	—	—	—	—	—	—	50.0

問 23 今後、地域福祉のまちづくりのために塩竈市はどのような施策を優先的に取り組むべきだと思いますか。(○は3つまで)

「高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備」の割合が50.6%と最も高く、次いで「身近なところでの相談窓口の充実」の割合が28.1%、「福祉サービスに関する情報提供や案内の充実」の割合が27.5%となっています。

回答者数 = 928



【年齢別】

年齢別にみると、全体的に「高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備」の割合が高くなっており、続いて「身近なところでの相談窓口の充実」、「福祉サービスに関する情報提供や案内の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備	身近なところでの相談窓口の充実	福祉サービスに関する情報提供や案内の充実	地域の支え合いの仕組みの再構築	認知症や知的・精神障がいなどにより判断能力が不十分な人への日常生活支援の充実	ニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化	地域ぐるみの子育て支援	ボランティアの育成と活動の促進
全体	928	50.6	28.1	27.5	11.4	17.1	17.2	14.1	5.1
18、19歳	8	12.5	25.0	12.5	—	25.0	12.5	25.0	25.0
20～29歳	65	44.6	16.9	20.0	6.2	16.9	18.5	27.7	3.1
30～39歳	85	28.2	20.0	20.0	7.1	5.9	16.5	35.3	1.2
40～49歳	127	43.3	30.7	25.2	14.2	13.4	20.5	24.4	5.5
50～59歳	131	51.9	32.1	25.2	14.5	19.1	16.8	11.5	4.6
60～64歳	87	65.5	33.3	36.8	10.3	19.5	21.8	9.2	3.4
65～69歳	72	50.0	30.6	26.4	15.3	11.1	22.2	11.1	5.6
70～74歳	104	54.8	25.0	38.5	15.4	16.3	17.3	8.7	7.7
75歳以上	239	59.0	29.7	27.6	9.6	23.4	12.6	3.8	5.0

区分	福祉教育の充実	就労機会の拡充	福祉サービスの質を評価(第三者評価)するための仕組みづくり	生活困窮者への支援	虐待防止についての仕組みづくり	市民(サービス利用者)の苦情解決の仕組みづくり	その他	特になし	無回答
全体	5.5	10.1	1.8	16.4	5.9	7.9	2.5	5.9	4.3
18、19歳	—	25.0	—	50.0	12.5	—	—	—	—
20～29歳	10.8	6.2	—	16.9	10.8	9.2	4.6	9.2	—
30～39歳	14.1	17.6	2.4	18.8	12.9	9.4	7.1	7.1	1.2
40～49歳	5.5	18.1	0.8	11.8	3.9	7.1	3.1	5.5	0.8
50～59歳	3.8	13.0	1.5	12.2	6.9	5.3	3.8	4.6	5.3
60～64歳	4.6	12.6	—	16.1	5.7	8.0	—	2.3	1.1
65～69歳	2.8	8.3	5.6	19.4	5.6	15.3	—	11.1	1.4
70～74歳	1.9	8.7	1.9	16.3	2.9	5.8	—	4.8	9.6
75歳以上	5.0	2.5	2.5	18.4	4.2	7.5	1.7	5.9	7.1

【地域別】

全体的に「高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備」の割合が高い傾向となっている。

単位：%

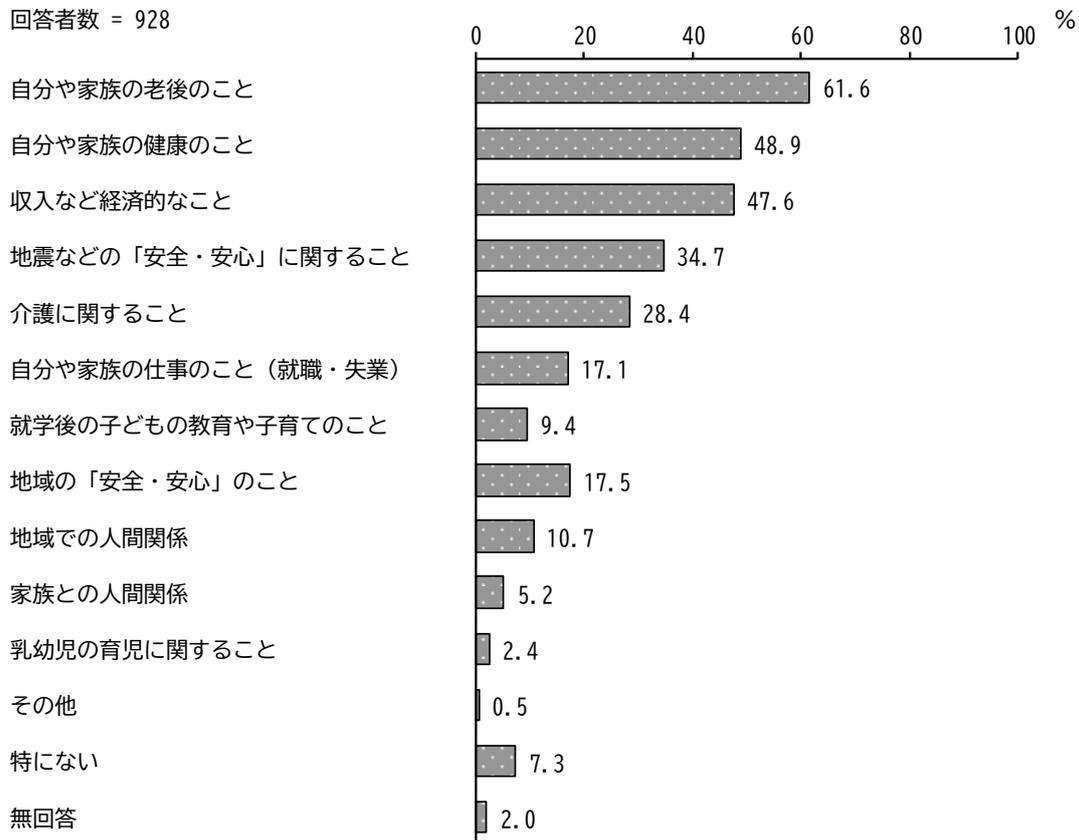
区分	回答者数(件)	高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備	身近なところでの相談窓口の充実	福祉サービスに関する情報提供や案内の充実	地域の支え合いの仕組みの再構築	認知症や知的・精神障がいなどにより判断能力が不十分な人への日常生活支援の充実	ニーズに対応した福祉サービスメニューの多様化	地域ぐるみの子育て支援	ボランティアの育成と活動の促進
全体	928	50.6	28.1	27.5	11.4	17.1	17.2	14.1	5.1
東部地区	129	45.7	28.7	24.8	14.0	11.6	16.3	14.0	3.9
西部地区	274	50.0	29.9	27.4	12.0	18.6	16.4	16.8	5.1
南部地区	115	53.9	29.6	31.3	14.8	17.4	24.3	9.6	2.6
北部地区	396	52.3	26.0	27.3	9.6	17.9	16.2	13.9	5.8
浦戸地区	2	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-

区分	福祉教育の充実	就労機会の拡充	福祉サービスの質を評価(第三者評価)するための仕組みづくり	生活困窮者への支援	虐待防止についての仕組みづくり	市民(サービス利用者)の苦情解決の仕組みづくり	その他	特になし	無回答
全体	5.5	10.1	1.8	16.4	5.9	7.9	2.5	5.9	4.3
東部地区	5.4	12.4	-	17.1	3.9	11.6	1.6	8.5	7.0
西部地区	7.3	8.4	2.6	13.9	7.7	7.3	1.8	5.5	4.0
南部地区	5.2	13.0	1.7	15.7	5.2	7.8	0.9	6.1	1.7
北部地区	4.5	10.1	2.0	18.4	5.8	7.1	3.5	5.3	4.0
浦戸地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## (5) 悩み事や福祉に関する相談先について

問 24 あなたは、日頃の暮らしの中で、どのような悩みや不安を感じていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「自分や家族の老後のこと」の割合が 61.6%と最も高く、次いで「自分や家族の健康のこと」の割合が 48.9%、「収入など経済的なこと」の割合が 47.6%となっています。



【年齢別】

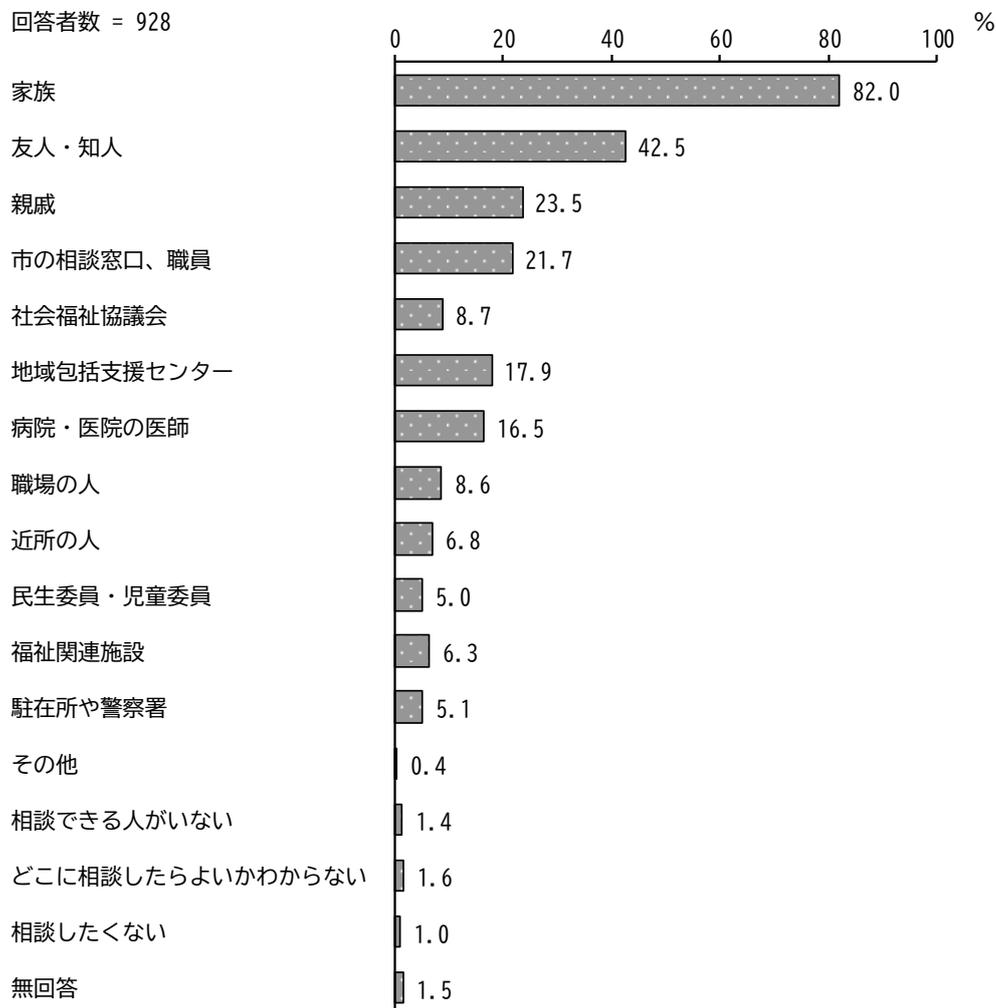
年齢別にみると、39歳以下で「収入など経済的なこと」「自分や家族の老後のこと」の割合が高くなっており、40歳以上では「自分や家族の老後のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自分や家族の老後のこと	自分や家族の健康のこと	収入など経済的なこと	地震などの「安全・安心」に関すること	介護に関すること	自分や家族の仕事のこと(就職・失業)	就学後の子どもの教育や子育てのこと	地域の「安全・安心」のこと	地域での人間関係	家族との人間関係	乳幼児の育児に関すること	その他	特にない	無回答
全体	928	61.6	48.9	47.6	34.7	28.4	17.1	9.4	17.5	10.7	5.2	2.4	0.5	7.3	2.0
18、19歳	8	25.0	12.5	37.5	12.5	—	25.0	12.5	—	—	—	—	—	37.5	—
20～29歳	65	49.2	40.0	67.7	30.8	9.2	33.8	9.2	10.8	10.8	6.2	6.2	1.5	6.2	—
30～39歳	85	54.1	47.1	60.0	37.6	9.4	28.2	40.0	20.0	3.5	9.4	11.8	1.2	4.7	—
40～49歳	127	63.0	44.9	53.5	28.3	26.0	29.1	20.5	14.2	6.3	5.5	4.7	0.8	5.5	1.6
50～59歳	131	72.5	45.8	50.4	32.1	34.4	23.7	9.2	14.5	9.2	3.1	—	0.8	7.6	1.5
60～64歳	87	67.8	50.6	51.7	34.5	20.7	17.2	1.1	11.5	2.3	5.7	—	—	6.9	2.3
65～69歳	72	63.9	54.2	43.1	38.9	29.2	9.7	2.8	20.8	19.4	1.4	—	—	11.1	—
70～74歳	104	57.7	55.8	40.4	37.5	29.8	8.7	3.8	22.1	11.5	5.8	—	—	10.6	2.9
75歳以上	239	61.9	52.3	37.7	38.5	41.4	4.2	0.4	21.8	16.3	5.4	0.8	—	5.9	3.3

問 25 毎日の暮らしの中で相談や助けが必要なとき、誰に相談したいと思いますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

「家族」の割合が 82.0%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 42.5%、「親戚」の割合が 23.5%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、全体的には「家族」の割合が高くなっていますが、他に比べ、20歳以下では「友人・知人」の割合が高くなっています。その他、「親戚」「市の相談窓口、職員」の割合も高くなっています。

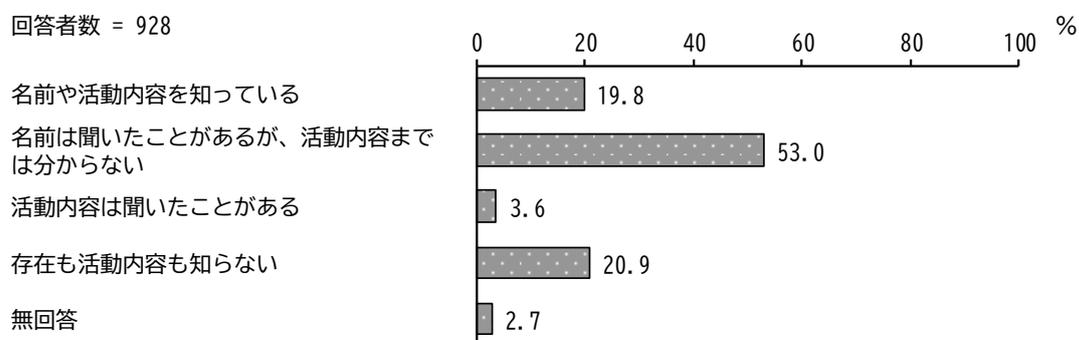
単位：％

区分	回答者数(件)	家族	友人・知人	親戚	市の相談窓口、職員	社会福祉協議会	地域包括支援センター	病院・医院の医師	職場の人
全体	928	82.0	42.5	23.5	21.7	8.7	17.9	16.5	8.6
18、19歳	8	75.0	87.5	12.5	12.5	—	12.5	12.5	12.5
20～29歳	65	89.2	60.0	7.7	6.2	—	4.6	7.7	16.9
30～39歳	85	85.9	56.5	21.2	20.0	4.7	2.4	5.9	20.0
40～49歳	127	83.5	54.3	19.7	23.6	3.9	10.2	14.2	18.1
50～59歳	131	75.6	46.6	22.9	25.2	10.7	16.0	8.4	12.2
60～64歳	87	71.3	31.0	27.6	20.7	9.2	20.7	12.6	8.0
65～69歳	72	86.1	38.9	30.6	30.6	6.9	18.1	23.6	2.8
70～74歳	104	85.6	40.4	17.3	20.2	12.5	25.0	23.1	1.9
75歳以上	239	83.3	29.7	30.5	22.6	13.4	27.6	24.7	0.4

区分	近所の人	民生委員・児童委員	福祉関連施設	駐在所や警察署	その他	相談できる人がいない	どこに相談したらよいかわからない	相談したくない	無回答
全体	6.8	5.0	6.3	5.1	0.4	1.4	1.6	1.0	1.5
18、19歳	—	—	—	12.5	—	—	—	12.5	—
20～29歳	—	—	4.6	1.5	—	—	—	1.5	—
30～39歳	3.5	—	2.4	1.2	1.2	1.2	3.5	2.4	—
40～49歳	2.4	2.4	3.1	3.9	—	2.4	1.6	1.6	0.8
50～59歳	5.3	4.6	9.9	6.9	—	1.5	4.6	1.5	1.5
60～64歳	8.0	2.3	5.7	5.7	—	3.4	3.4	—	1.1
65～69歳	11.1	4.2	5.6	6.9	1.4	—	1.4	—	2.8
70～74歳	4.8	4.8	9.6	3.8	1.9	1.0	—	—	2.9
75歳以上	12.6	11.3	7.1	6.7	—	0.8	—	0.4	2.1

問 26 あなたは「社会福祉法人 塩竈市社会福祉協議会」を知っていますか。  
(○は1つだけ)

「名前は聞いたことがあるが、活動内容までは分からない」の割合が53.0%と最も高く、次いで「存在も活動内容も知らない」の割合が20.9%、「名前や活動内容を知っている」の割合が19.8%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、29歳以下で「存在も活動内容も知らない」の割合が高くなっており、30歳以上で「名前は聞いたことがあるが、活動内容までは分からない」の割合が高くなっています。年齢が上がるにつれ、認知度が高い傾向となっております。

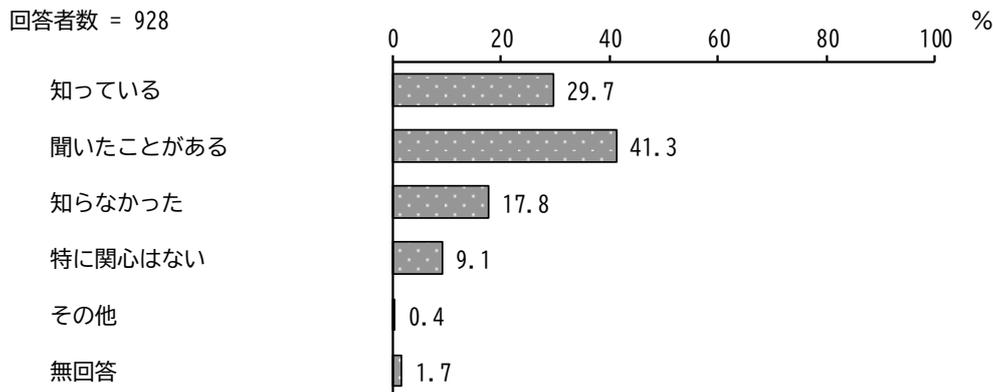
単位：%

区分	回答者数(件)	名前や活動内容を知っている	名前は聞いたことがあるが、活動内容までは分からない	活動内容は聞いたことがある	存在も活動内容も知らない	無回答
全 体	928	19.8	53.0	3.6	20.9	2.7
18、19 歳	8	—	37.5	—	62.5	—
20～29 歳	65	7.7	38.5	1.5	52.3	—
30～39 歳	85	14.1	44.7	2.4	38.8	—
40～49 歳	127	14.2	48.0	1.6	33.9	2.4
50～59 歳	131	17.6	51.1	5.3	23.7	2.3
60～64 歳	87	23.0	59.8	2.3	13.8	1.1
65～69 歳	72	26.4	51.4	6.9	12.5	2.8
70～74 歳	104	23.1	60.6	3.8	7.7	4.8
75 歳以上	239	24.7	59.8	3.8	7.9	3.8

## (6) 犯罪をした人の立ち直りの支援について

問 27 犯罪や非行を繰り返す人の中には、刑務所などを出ても住居を借りられなかったり、職に就けなかったり、あるいは自分一人では生活するのが難しく、生活に困っている人がいることを知っていますか。(○は1つだけ)

「聞いたことがある」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「知っている」の割合が 29.7%、「知らなかった」の割合が 17.8%となっています。



### 【年齢別】

年齢別にみると、全体的には「聞いたことがある」の割合が高い傾向となっておりますが、「知っている」と「知らなかった」を比較すると「知っている」の方が割合が高い傾向となっております。

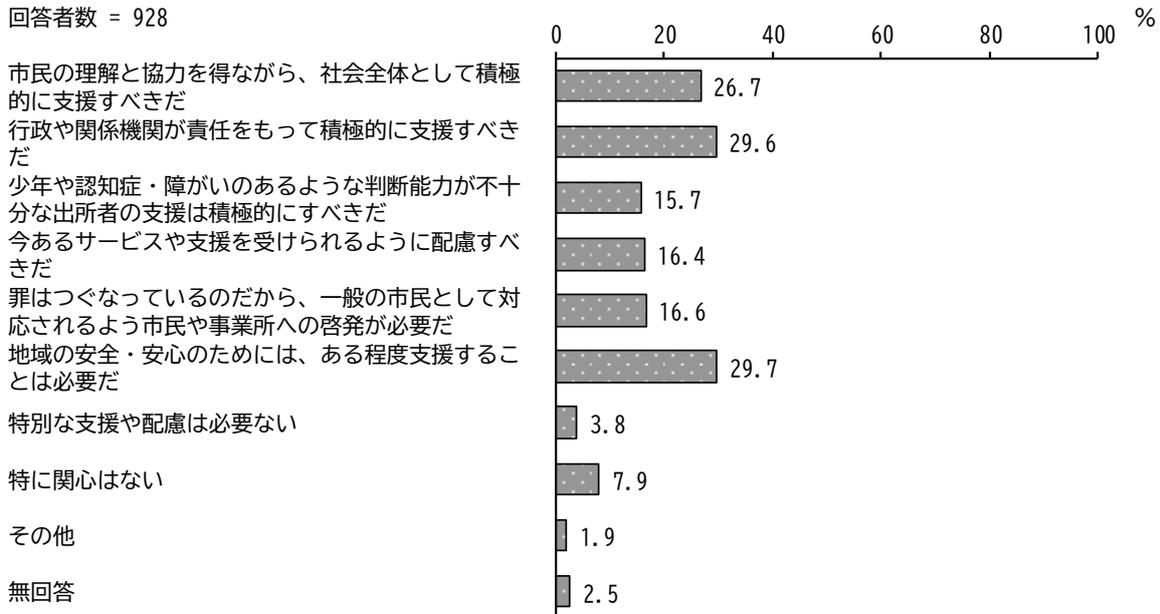
単位：%

区分	回答者数(件)	知っている	聞いたことがある	知らなかった	特に関心はない	その他	無回答
全体	928	29.7	41.3	17.8	9.1	0.4	1.7
18、19歳	8	37.5	37.5	12.5	12.5	—	—
20～29歳	65	43.1	26.2	24.6	6.2	—	—
30～39歳	85	24.7	36.5	25.9	12.9	—	—
40～49歳	127	28.3	37.8	21.3	11.8	0.8	—
50～59歳	131	28.2	46.6	15.3	9.2	0.8	—
60～64歳	87	31.0	48.3	14.9	4.6	—	1.1
65～69歳	72	27.8	44.4	19.4	6.9	—	1.4
70～74歳	104	28.8	49.0	13.5	6.7	—	1.9
75歳以上	239	29.7	39.3	15.9	10.5	0.4	4.2

問 28 刑務所や少年院を出た人が円滑に社会復帰できるよう支援することについてどう  
 思いますか。あなたの考えに特に近いものを選んでください。  
 (○は2つまで)

「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」の割合が 29.7%と最も高く、  
 次いで「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」の割合が 29.6%、「市民の理解  
 と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ」の割合が 26.7%となっています。

回答者数 = 928



【年齢別】

年齢別にみると、全体的には「行政や関係機関が責任を持って積極的に支援すべきだ」の割合が高い傾向にあります。また、「市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ」の割合も続いて高い傾向となっています。

若年層においては、社会全体で支援する必要があるとの意見の割合が高い傾向にあります。

単位：%

区分	回答者数(件)	市民の理解と協力を得ながら、社会全体として積極的に支援すべきだ	行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ	少年や認知症・障がいのあるような判断能力が不十分な出所者の支援は積極的にすべきだ	今あるサービスや支援を受けられるように配慮すべきだ	要だ 業所への啓発が必 れるよう市民や事 業所として対応さ るのだから、一般 市民の理解と協 力を得ながら、社 会全体として積 極的に支援する べきだ
全体	928	26.7	29.6	15.7	16.4	16.6
18、19歳	8	25.0	12.5	12.5	25.0	37.5
20～29歳	65	24.6	23.1	18.5	12.3	10.8
30～39歳	85	22.4	22.4	7.1	15.3	7.1
40～49歳	127	18.9	29.9	15.7	8.7	8.7
50～59歳	131	26.7	36.6	12.2	15.3	14.5
60～64歳	87	28.7	34.5	19.5	18.4	18.4
65～69歳	72	34.7	34.7	16.7	13.9	27.8
70～74歳	104	24.0	36.5	13.5	24.0	20.2
75歳以上	239	31.0	24.3	19.7	19.2	20.1

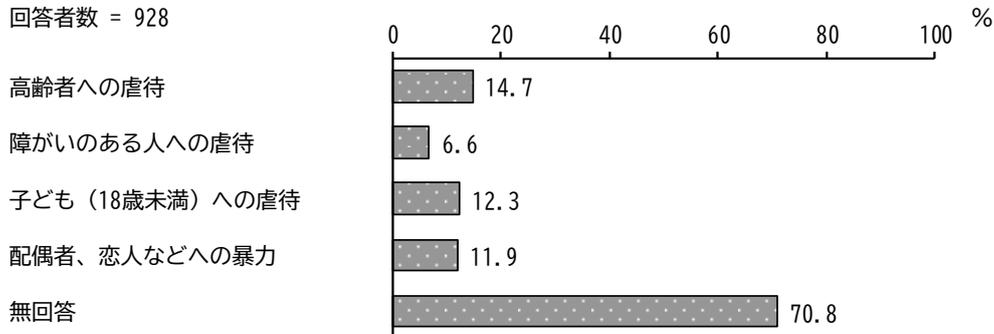
区分	地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ	特別な支援や配慮は必要ない	特に関心はない	その他	無回答
全体	29.7	3.8	7.9	1.9	2.5
18、19歳	12.5	—	12.5	—	—
20～29歳	27.7	7.7	10.8	1.5	1.5
30～39歳	31.8	8.2	11.8	5.9	—
40～49歳	37.8	7.1	6.3	3.1	0.8
50～59歳	30.5	5.3	7.6	1.5	1.5
60～64歳	25.3	1.1	6.9	1.1	1.1
65～69歳	31.9	1.4	5.6	1.4	1.4
70～74歳	30.8	1.0	5.8	—	2.9
75歳以上	26.4	1.7	8.8	1.7	5.0

## (7) 社会的な課題について

問 29 あなたは身近な地域で、下記の1～4に示す虐待などについて、実際の地域生活で見聞きしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「高齢者への虐待」の割合が14.7%と最も高く、次いで「子ども(18歳未満)への虐待」の割合が12.3%、「配偶者、恋人などへの暴力」の割合が11.9%となっています。

回答者数 = 928



### 【年齢別】

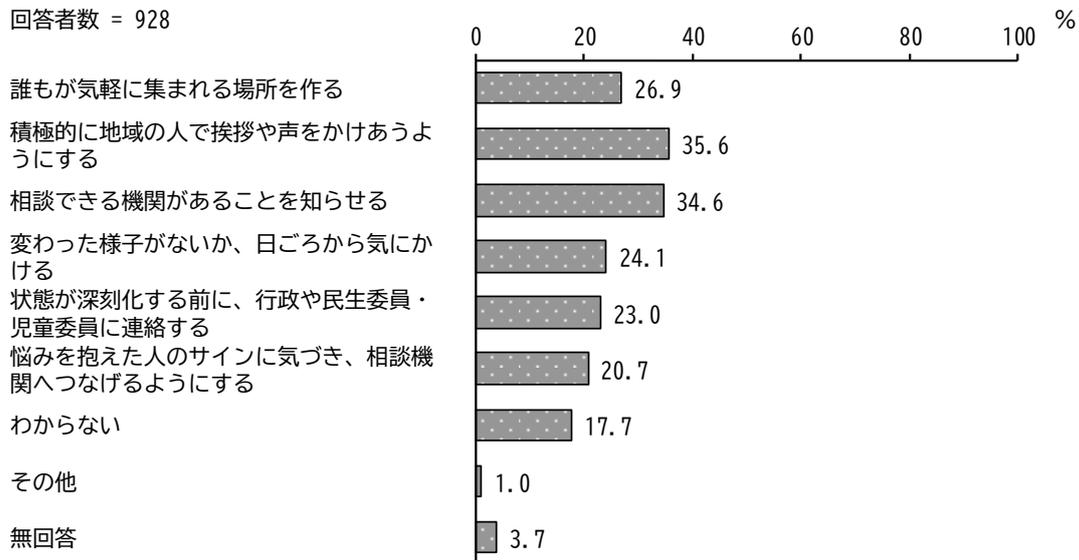
年齢別にみると、59歳以下では「配偶者、恋人などへの暴力」「子ども(18歳未満)への虐待」の割合が高い傾向となっており、60歳以上では「高齢者への虐待」が高い傾向となっております。

単位：%

区分	回答者数(件)	高齢者への虐待	障がいのある人への虐待	子ども(18歳未満)への虐待	配偶者、恋人などへの暴力	無回答
全体	928	14.7	6.6	12.3	11.9	70.8
18、19歳	8	25.0	25.0	37.5	25.0	62.5
20～29歳	65	16.9	13.8	23.1	23.1	60.0
30～39歳	85	16.5	9.4	15.3	17.6	64.7
40～49歳	127	11.8	2.4	18.1	15.0	66.9
50～59歳	131	17.6	7.6	16.0	22.1	64.1
60～64歳	87	10.3	4.6	4.6	4.6	79.3
65～69歳	72	11.1	5.6	13.9	2.8	73.6
70～74歳	104	9.6	7.7	4.8	7.7	79.8
75歳以上	239	17.6	5.0	6.7	6.7	74.5

問 30 社会的孤立（※）が課題となっていますが、あなたは地域住民の一員としてこの課題に対して、どのようなことができると思いますか。  
（あてはまるものすべてに○）

「積極的に地域の人で挨拶や声をかけあうようにする」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「相談できる機関があることを知らせる」の割合が 34.6%、「誰もが気軽に集まれる場所を作る」の割合が 26.9%となっています。



【年齢別】

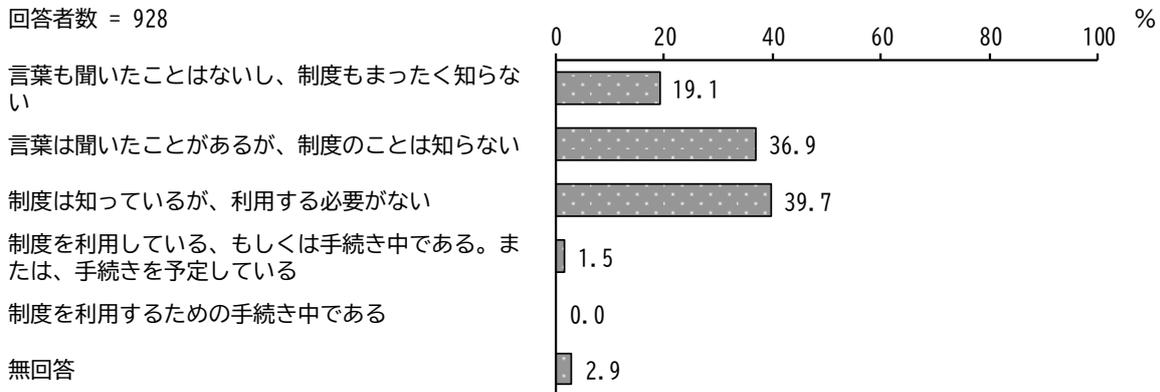
年齢別にみると、69歳以下では「相談できる機関があることを知らせる」の割合が高い傾向となっており、70歳以上では「積極的に地域の人で挨拶や声をかけあうようにする」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	誰もが気軽に集まれる場所を作る	積極的に地域の人で挨拶や声をかけあうようにする	相談できる機関があることを知らせる	変わった様子がないか、日ごろから気にかける	状態が深刻化する前に、行政や民生委員・児童委員に連絡する	悩みを抱えた人のサインに気づき、相談機関へつなげる	わからない	その他	無回答
全体	928	26.9	35.6	34.6	24.1	23.0	20.7	17.7	1.0	3.7
18、19歳	8	12.5	25.0	62.5	12.5	12.5	37.5	12.5	-	-
20～29歳	65	26.2	27.7	32.3	26.2	15.4	26.2	10.8	1.5	3.1
30～39歳	85	25.9	31.8	27.1	23.5	15.3	18.8	20.0	1.2	2.4
40～49歳	127	22.8	26.8	36.2	16.5	24.4	22.8	17.3	1.6	-
50～59歳	131	26.0	31.3	42.0	24.4	23.7	19.1	19.1	1.5	1.5
60～64歳	87	27.6	31.0	39.1	20.7	23.0	24.1	18.4	1.1	-
65～69歳	72	27.8	41.7	43.1	29.2	20.8	20.8	16.7	-	2.8
70～74歳	104	26.9	35.6	34.6	30.8	25.0	22.1	19.2	-	5.8
75歳以上	239	30.5	46.9	27.6	24.7	25.9	16.7	18.0	0.8	7.5

問 31 あなたは「成年後見制度」(※)を知っていますか。また、利用希望を教えてください。(○は1つだけ)

「制度は知っているが、利用する必要がない」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」の割合が 36.9%、「言葉も聞いたことはないし、制度もまったく知らない」の割合が 19.1%となっています。



#### 【年齢別】

年齢別にみると、全体的には「制度は知っているが、利用する必要がない」の割合が高い傾向にあります。40～59歳では「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」の割合が高くなっております。

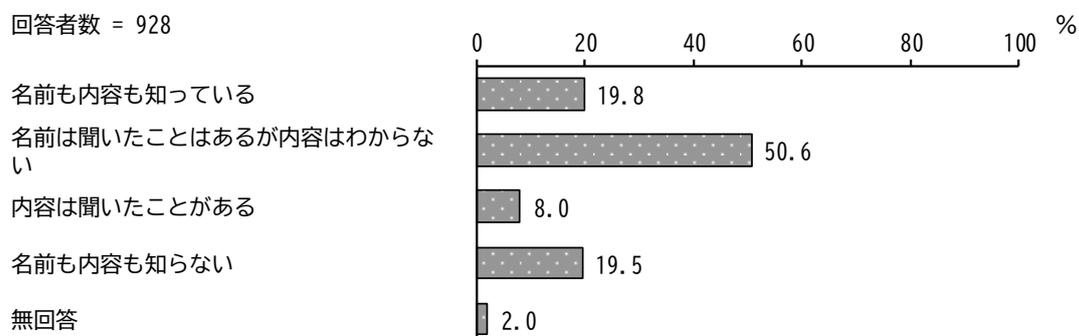
また、20歳未満は「言葉も聞いたことはないし、制度もまったく知らない」の割合が突出しております。

単位：%

区分	回答者数(件)	言葉も聞いたことはないし、制度もまったく知らない	言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない	制度は知っているが、利用する必要がない	制度を利用している、もしくは手続き中である。または、手続きを予定している	制度を利用するための手続き中である	無回答
全体	928	19.1	36.9	39.7	1.5	—	2.9
18、19歳	8	62.5	25.0	12.5	—	—	—
20～29歳	65	35.4	21.5	40.0	1.5	—	1.5
30～39歳	85	22.4	34.1	41.2	—	—	2.4
40～49歳	127	24.4	41.7	31.5	1.6	—	0.8
50～59歳	131	20.6	45.0	32.1	1.5	—	0.8
60～64歳	87	16.1	31.0	50.6	2.3	—	—
65～69歳	72	11.1	33.3	47.2	1.4	—	6.9
70～74歳	104	10.6	39.4	47.1	1.0	—	1.9
75歳以上	239	15.5	38.1	39.7	1.7	—	5.0

問 32 あなたは「生活困窮者自立支援法（制度）」（※）を知っていますか。  
（○は1つだけ）

「名前は聞いたことはあるが内容はわからない」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が 19.8%、「名前も内容も知らない」の割合が 19.5%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、全体的には「名前は聞いたことはあるが内容はわからない」の割合が高くなっていますが、20～29歳では「名前も内容も知っている」の割合が高くなっています。

また、20歳で「名前は聞いたことはあるが内容はわからない」の割合が高くなっています。

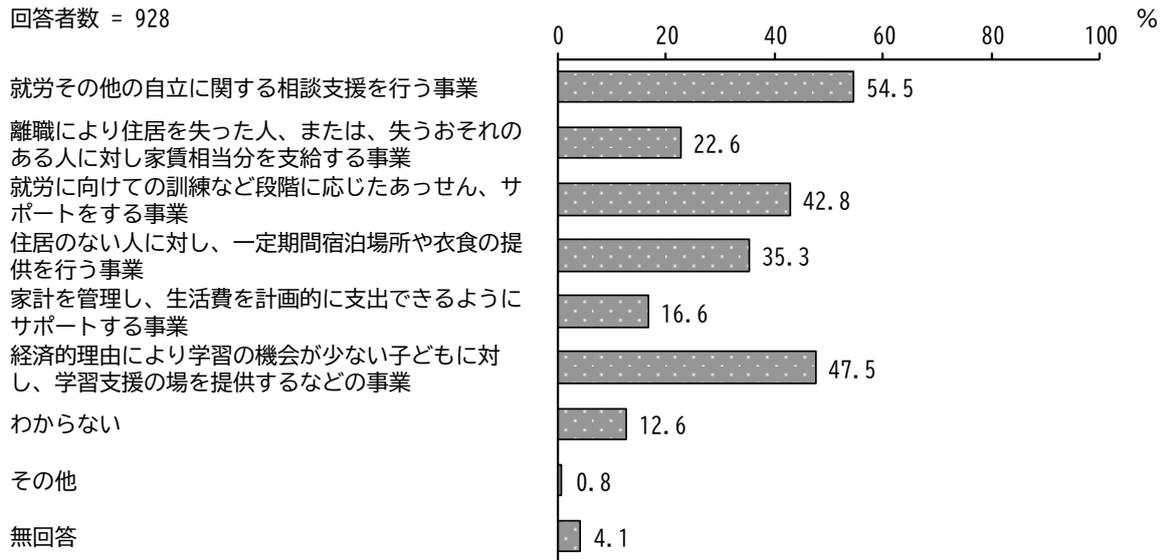
単位：%

区分	回答者数（件）	名前も内容も知っている	名前は聞いたことはあるが内容はわからない	内容は聞いたことがある	名前も内容も知らない	無回答
全 体	928	19.8	50.6	8.0	19.5	2.0
18、19歳	8	25.0	—	—	75.0	—
20～29歳	65	33.8	27.7	9.2	29.2	—
30～39歳	85	15.3	45.9	7.1	30.6	1.2
40～49歳	127	20.5	48.0	3.9	26.8	0.8
50～59歳	131	11.5	62.6	9.9	16.0	—
60～64歳	87	17.2	63.2	5.7	13.8	—
65～69歳	72	20.8	50.0	11.1	15.3	2.8
70～74歳	104	21.2	61.5	8.7	7.7	1.0
75歳以上	239	21.8	46.4	8.8	18.4	4.6

問 33 就労や心身の状況、地域社会との関係性などの事情で、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが困難になったとして、必要と思われる支援内容は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「就労その他の自立に関する相談支援を行う事業」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業」の割合が 47.5%、「就労に向けての訓練など段階に応じたあっせん、サポートをする事業」の割合が 42.8% となっています。

回答者数 = 928



【年齢別】

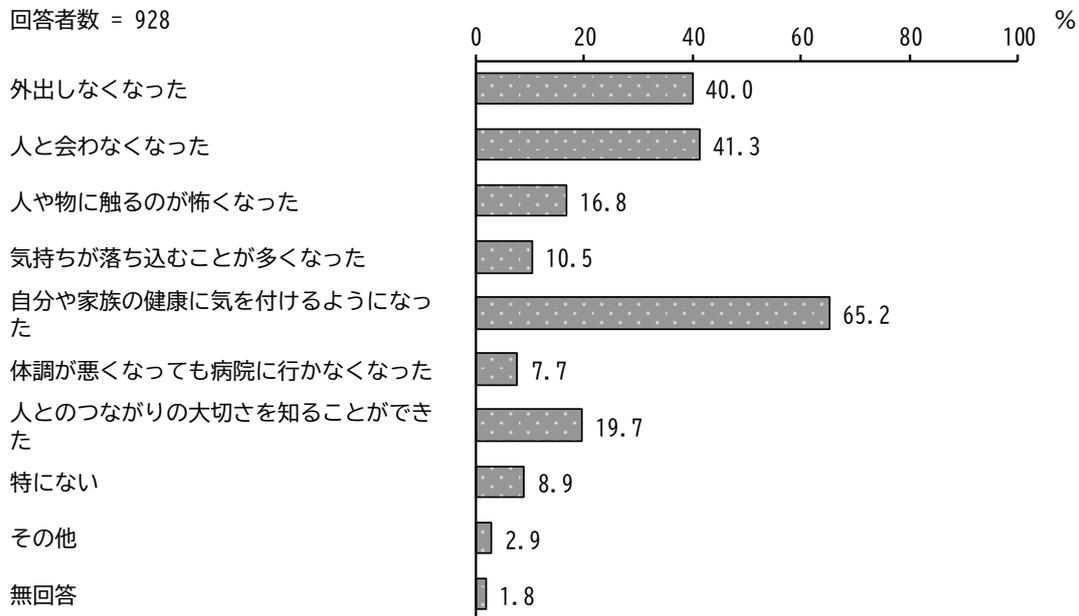
年齢別にみると、全体的に「就労その他の自立に関する相談支援を行う事業」の割合が高い傾向となっており、続いて「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業」の割合が高くなっております。

単位：％

区分	回答者数(件)	就労その他の自立に関する相談支援を行う事業	就労その他の自立に関する相談支援を行う事業	失った人、または、失うおそれのある	離職により住居を失った人、または、	たあつせん、サポート	就労に向けての訓練など段階に応じたあつせん、サポート	所や衣食の提供を	住居のない人に対し、一定期間宿泊場所や衣食の提供を	費を計画的に支出できるようにサポート	家計を管理し、生活費を計画的に支出できるようにサポート	経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業	わからない	その他	無回答
全 体	928	54.5	22.6	42.8	35.3	16.6	47.5	12.6	0.8	4.1					
18、19 歳	8	50.0	37.5	—	37.5	25.0	50.0	—	—	—					
20～29 歳	65	47.7	26.2	32.3	36.9	23.1	56.9	9.2	1.5	1.5					
30～39 歳	85	55.3	28.2	52.9	37.6	16.5	44.7	10.6	—	—					
40～49 歳	127	65.4	26.0	46.5	32.3	17.3	55.1	4.7	0.8	0.8					
50～59 歳	131	61.8	26.7	43.5	38.2	13.0	43.5	13.0	0.8	1.5					
60～64 歳	87	59.8	24.1	39.1	39.1	24.1	56.3	9.2	2.3	—					
65～69 歳	72	59.7	23.6	45.8	47.2	18.1	52.8	9.7	—	6.9					
70～74 歳	104	47.1	20.2	44.2	32.7	11.5	52.9	12.5	—	6.7					
75 歳以上	239	46.0	14.6	40.6	31.0	15.9	36.8	20.9	0.8	7.9					

問 34 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの意識に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

「自分や家族の健康に気を付けるようになった」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「人と会わなくなった」の割合が 41.3%、「外出しなくなった」の割合が 40.0%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、全体的に「自分や家族の健康に気を付けるようになった」、「人と会わなくなった」、「外出しなくなった」の割合が高くなっております。

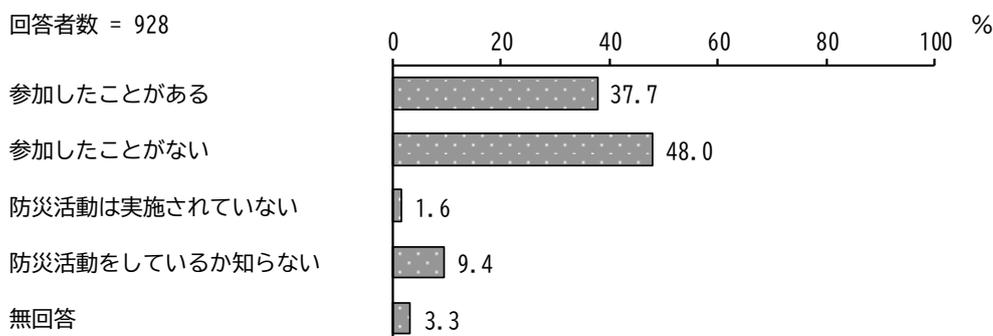
単位：%

区分	回答者数(件)	外出しなくなった	人と会わなくなった	人や物に触るのが怖くなった	気持ちが落ち込むことが多くなった	自分や家族の健康に気を付けるようになった	も体調が悪くても病院に行かなくなった	大切なつながりができた	特にない	その他	無回答
全体	928	40.0	41.3	16.8	10.5	65.2	7.7	19.7	8.9	2.9	1.8
18、19歳	8	25.0	25.0	37.5	12.5	50.0	—	—	25.0	—	12.5
20～29歳	65	20.0	23.1	20.0	13.8	50.8	7.7	12.3	16.9	4.6	—
30～39歳	85	38.8	40.0	25.9	12.9	67.1	10.6	20.0	9.4	8.2	—
40～49歳	127	31.5	41.7	23.6	10.2	60.6	15.0	9.4	7.9	2.4	—
50～59歳	131	38.2	41.2	17.6	9.2	66.4	9.9	15.3	8.4	1.5	—
60～64歳	87	39.1	37.9	13.8	12.6	63.2	2.3	14.9	9.2	2.3	—
65～69歳	72	48.6	52.8	12.5	8.3	65.3	6.9	27.8	4.2	1.4	2.8
70～74歳	104	41.3	49.0	15.4	4.8	67.3	6.7	29.8	8.7	2.9	2.9
75歳以上	239	49.8	42.3	11.3	12.1	71.5	4.2	24.7	8.4	2.5	3.3

## (8) 災害発生時における助け合い活動について

問 35 あなたは住んでいる身近な地域の防災活動に参加されていますか。  
(○は1つだけ)

「参加したことがない」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「参加したことがある」の割合が 37.7%となっています。



### 【年齢別】

年齢別にみると、20歳未満、65歳以上で「参加したことがある」の割合が高く、20～64歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	参加したことがある	参加したことがない	防災活動は実施されていない	防災活動をしているか知らない	無回答
全体	928	37.7	48.0	1.6	9.4	3.3
18、19歳	8	75.0	25.0	—	—	—
20～29歳	65	12.3	64.6	—	21.5	1.5
30～39歳	85	15.3	60.0	—	21.2	3.5
40～49歳	127	26.8	58.3	1.6	12.6	0.8
50～59歳	131	29.0	58.0	—	10.7	2.3
60～64歳	87	34.5	50.6	5.7	9.2	—
65～69歳	72	45.8	44.4	2.8	5.6	1.4
70～74歳	104	52.9	35.6	1.9	6.7	2.9
75歳以上	239	54.8	35.1	1.3	2.1	6.7

【地域別】

地域別にみると、全体として「参加したことがない」の割合が高くなっております。

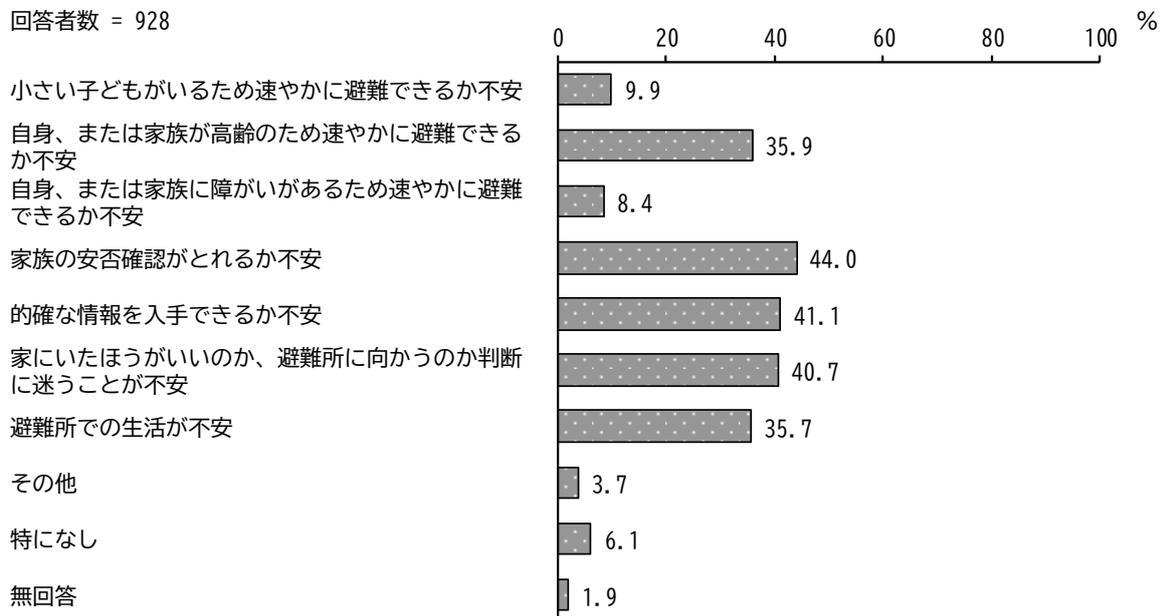
単位：％

区分	回答者数(件)	参加したことがある	参加したことがない	防災活動は実施されていません	防災活動をしていないか知らない	無回答
全体	928	37.7	48.0	1.6	9.4	3.3
東部地区	129	33.3	49.6	2.3	7.8	7.0
西部地区	274	38.0	47.4	1.1	9.5	4.0
南部地区	115	36.5	47.8	1.7	12.2	1.7
北部地区	396	39.6	48.5	1.5	8.8	1.5
浦戸地区	2	50.0	—	—	50.0	—

問 36 災害時にあなたが不安に感じることはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「家族の安否確認がとれるか不安」の割合が44.0%と最も高く、次いで「的確な情報を入手できるか不安」の割合が41.1%、「家にいたほうがいいのか、避難所に向かうのか判断に迷うことが不安」の割合が40.7%となっています。

回答者数 = 928



【年齢別】

年齢別にみると、49歳以下では「家族の安否確認がとれるか不安」の割合が高く、50歳以上では「的確な情報を入手できるかが不安」の割合が高くなっています。続いて「家にいたほうが良いのか、避難所に向かうのか判断に迷うことが不安」の割合が高くなっています。

また、75歳以上では「自身、または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	安	小さい子どもがいるため速やかに避難できるか不安	自身、または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安	自身、または家族に障がいがあるため速やかに避難できるか不安	家族の安否確認がとれるか不安	的確な情報を入手できるか不安	家にいたほうが良いのか、避難所に向かうのか判断に迷うことが不安	避難所での生活が不安	その他	特になし	無回答
全体	928	9.9	35.9	8.4	44.0	41.1	40.7	35.7	3.7	6.1	1.9	
18、19歳	8	—	12.5	—	50.0	37.5	25.0	12.5	—	25.0	—	
20～29歳	65	21.5	29.2	13.8	56.9	38.5	46.2	36.9	4.6	7.7	1.5	
30～39歳	85	45.9	14.1	5.9	57.6	43.5	44.7	28.2	5.9	4.7	1.2	
40～49歳	127	18.1	22.8	4.7	52.0	41.7	38.6	36.2	3.9	4.7	—	
50～59歳	131	3.8	27.5	4.6	47.3	49.6	37.4	35.1	4.6	6.9	0.8	
60～64歳	87	2.3	21.8	10.3	49.4	52.9	40.2	37.9	6.9	3.4	1.1	
65～69歳	72	1.4	31.9	8.3	47.2	50.0	34.7	34.7	4.2	2.8	1.4	
70～74歳	104	4.8	44.2	5.8	39.4	37.5	46.2	39.4	1.0	8.7	1.9	
75歳以上	239	1.3	61.1	13.0	29.7	31.4	41.8	38.1	1.3	6.7	3.3	

【地域別】

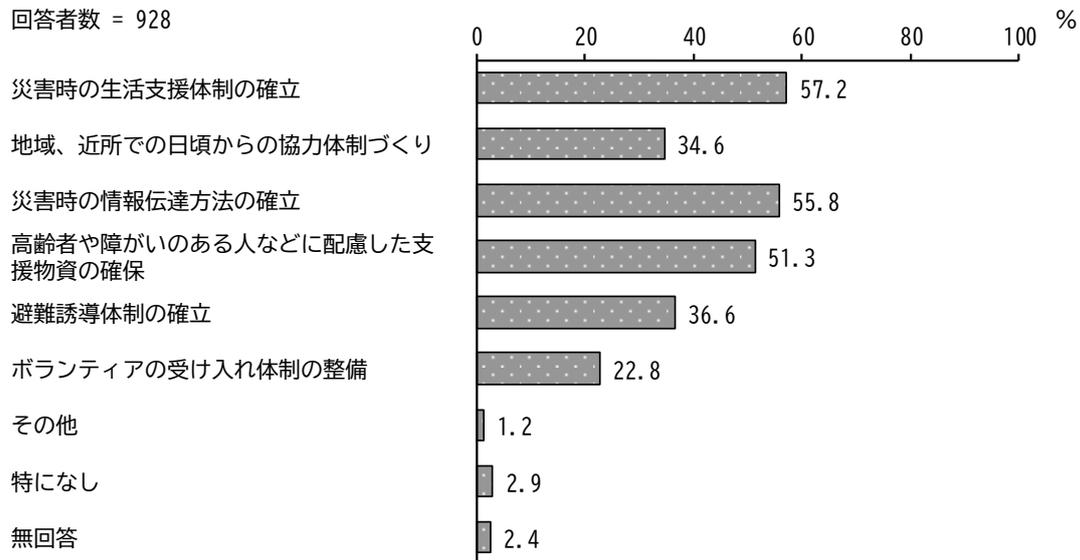
地域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	安	小さい子どもがいるため速やかに避難できるか不安	自身、または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安	自身、または家族に障がいがあるため速やかに避難できるか不安	家族の安否確認がとれるか不安	的確な情報を入手できるか不安	家にいたほうが良いのか、避難所に向かうのか判断に迷うことが不安	避難所での生活が不安	その他	特になし	無回答
全体	928	9.9	35.9	8.4	44.0	41.1	40.7	35.7	3.7	6.1	1.9	
東部地区	129	10.1	34.9	8.5	39.5	41.9	42.6	34.1	4.7	8.5	2.3	
西部地区	274	13.1	35.4	9.1	45.6	41.2	38.0	31.0	3.3	5.8	3.3	
南部地区	115	5.2	40.0	7.8	47.8	40.0	42.6	37.4	2.6	6.1	—	
北部地区	396	9.3	35.4	8.3	43.9	41.4	41.9	39.6	3.5	5.6	0.8	
浦戸地区	2	—	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—	—	

問 37 塩竈市は地震や台風などの災害時に備え、高齢者、障がいのある人など災害弱者に対する対策として、特にどのようなことに取り組むべきだと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「災害時の生活支援体制の確立」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「災害時の情報伝達方法の確立」の割合が 55.8%、「高齢者や障がいのある人などに配慮した支援物資の確保」の割合が 51.3%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、29歳以下では「高齢者や障がいのある人などに配慮した支援物資の確保」の割合が高くなっており、20～59歳では「災害時の情報伝達方法の確立」の割合が高くなっています。

また、60歳以上では「災害時の生活支援体制の確立」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	災害時の生活支援体制 の確立	地域、近所での日頃か らの協力体制づくり	災害時の情報伝達方法 の確立	高齢者や障がいのある 人などに配慮した支援 物資の確保	避難誘導体制の確立	ボランティアの受け入 れ体制の整備	その他	特になし	無回答
全 体	928	57.2	34.6	55.8	51.3	36.6	22.8	1.2	2.9	2.4
18、19歳	8	37.5	25.0	37.5	50.0	37.5	12.5	—	—	—
20～29歳	65	44.6	24.6	46.2	46.2	41.5	29.2	—	7.7	—
30～39歳	85	45.9	35.3	47.1	37.6	42.4	27.1	2.4	4.7	1.2
40～49歳	127	47.2	29.1	53.5	41.7	32.3	18.9	1.6	3.1	1.6
50～59歳	131	59.5	25.2	67.9	48.1	38.9	22.9	1.5	3.8	—
60～64歳	87	58.6	32.2	52.9	55.2	36.8	20.7	1.1	1.1	—
65～69歳	72	65.3	38.9	59.7	52.8	38.9	20.8	—	2.8	1.4
70～74歳	104	65.4	35.6	62.5	59.6	34.6	21.2	—	1.0	2.9
75歳以上	239	62.8	43.9	53.6	59.8	34.3	23.4	1.3	2.1	5.4

【地域別】

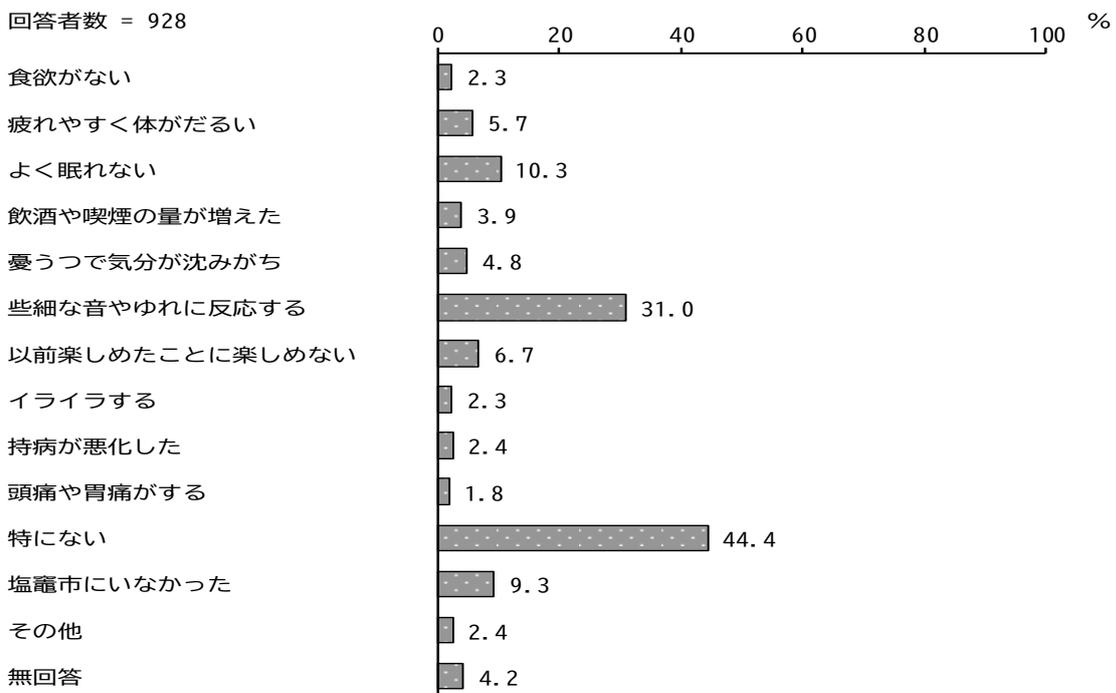
地域別にみると、全体的には「災害時の生活支援体制の確立」の割合が高くなっていますが、南部地区では「災害時の情報伝達方法の確立」の割合も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	災害時の生活支援体制の確立	地域、近所での日頃からの協力体制づくり	災害時の情報伝達方法の確立	高齢者や障がいのある人などに配慮した支援物資の確保	避難誘導体制の確立	ボランティアの受け入れ体制の整備	その他	特になし	無回答
全体	928	57.2	34.6	55.8	51.3	36.6	22.8	1.2	2.9	2.4
東部地区	129	61.2	31.0	55.0	43.4	34.9	21.7	3.1	5.4	1.6
西部地区	274	51.8	37.2	53.3	49.6	35.0	22.3	1.5	2.9	2.9
南部地区	115	63.5	33.9	59.1	52.2	43.5	25.2	—	2.6	0.9
北部地区	396	57.8	34.1	57.1	55.6	36.9	23.0	0.5	2.3	2.0
浦戸地区	2	100.0	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—

問 38 東日本大震災後、心や身体に不調はありますか（ありましたか）。  
（あてはまるものすべてに○）

「特になし」の割合が44.4%と最も高く、次いで「些細な音やゆれに反応する」の割合が31.0%、「よく眠れない」の割合が10.3%となっています。



【年齢別】

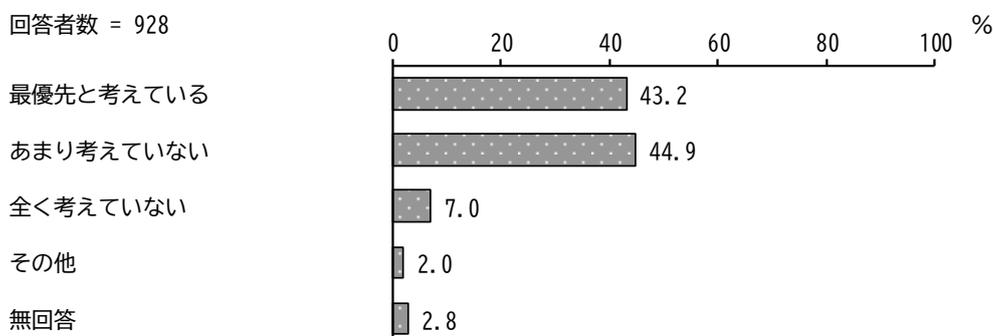
年齢別にみると、全体的には「特にない」の割合が高いですが、75歳以上では「些細な音やゆれに反応する」の割合が、70～74歳で「よく眠れない」の割合が高くなっています。また、30～39歳で「些細な音やゆれに反応する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	食欲がない	疲れやすく体がだるい	よく眠れない	飲酒や喫煙の量が増えた	憂うつで気分が沈みがち	些細な音やゆれに反応する	以前楽しめたことに楽しめない	イライラする	持病が悪化した	頭痛や胃痛がする	特にない	た塩竈市にいなかった	その他	無回答
全体	928	2.3	5.7	10.3	3.9	4.8	31.0	6.7	2.3	2.4	1.8	44.4	9.3	2.4	4.2
18、19歳	8	—	—	—	—	—	12.5	12.5	—	—	—	75.0	12.5	—	—
20～29歳	65	4.6	9.2	6.2	—	9.2	21.5	—	1.5	—	3.1	52.3	20.0	—	—
30～39歳	85	1.2	2.4	5.9	1.2	5.9	17.6	4.7	1.2	—	1.2	42.4	27.1	5.9	2.4
40～49歳	127	—	3.1	5.5	5.5	3.1	22.0	2.4	2.4	2.4	1.6	47.2	19.7	0.8	3.9
50～59歳	131	2.3	6.9	9.2	9.2	3.1	31.3	5.3	0.8	1.5	2.3	45.0	9.9	3.8	0.8
60～64歳	87	2.3	12.6	11.5	4.6	8.0	32.2	10.3	5.7	2.3	1.1	40.2	3.4	3.4	3.4
65～69歳	72	5.6	4.2	12.5	2.8	4.2	33.3	9.7	—	1.4	—	51.4	4.2	—	2.8
70～74歳	104	1.9	5.8	15.4	3.8	3.8	32.7	6.7	1.0	3.8	1.9	44.2	2.9	2.9	6.7
75歳以上	239	2.1	4.6	13.4	2.5	4.6	42.3	9.6	2.9	4.2	2.1	40.2	0.8	1.7	6.7

問 39 あなたは震災後の地域での福祉に関する助け合いの活動についてどのように考えていますか。(○は1つだけ)

「あまり考えていない」の割合が44.9%と最も高く、次いで「最優先と考えている」の割合が43.2%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、59歳以下では「あまり考えていない」の割合が高く、60歳以上では「最優先と考える」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	最優先と考える	あまり考えていない	全く考えていない	その他	無回答
全 体	928	43.2	44.9	7.0	2.0	2.8
18、19歳	8	25.0	62.5	12.5	—	—
20～29歳	65	41.5	44.6	10.8	3.1	—
30～39歳	85	23.5	54.1	15.3	4.7	2.4
40～49歳	127	23.6	59.8	12.6	3.1	0.8
50～59歳	131	39.7	50.4	7.6	2.3	—
60～64歳	87	47.1	44.8	5.7	1.1	1.1
65～69歳	72	50.0	41.7	2.8	4.2	1.4
70～74歳	104	47.1	45.2	2.9	—	4.8
75歳以上	239	57.7	32.2	3.3	0.8	5.9

【東日本大震災後の心身の状態別】

東日本大震災後の心身の状態別にみると、他に比べ、食欲がないで「最優先と考えている」の割合が、頭痛や胃痛がするで「最優先と考えている」の割合が、疲れやすく体がだるいで「最優先と考えている」の割合が高くなっています。また、疲れやすく体がだるいで「あまり考えていない」の割合が、イライラするで「あまり考えていない」の割合が、塩竈市にいなかったで「最優先と考えている」の割合が低くなっています。

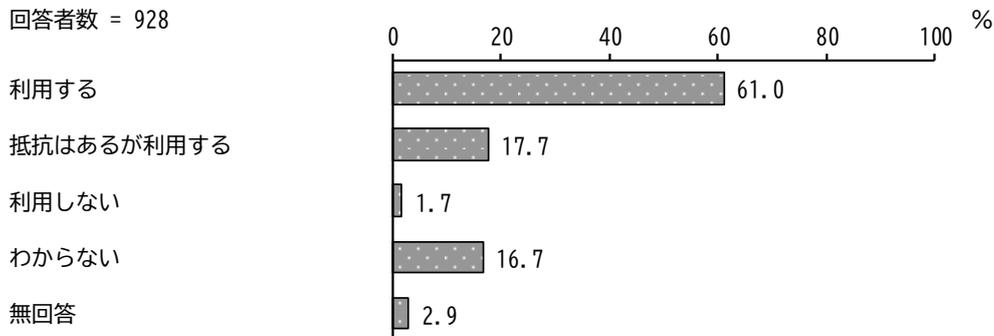
単位：％

区分	回答者数 (件)	最優先と 考えてい る	い あまり考 えていな い	全 く考 えてい ない	そ の 他	無 回 答
全 体	928	43.2	44.9	7.0	2.0	2.8
食欲がない	21	66.7	33.3	—	—	—
疲れやすく体がだるい	53	62.3	26.4	5.7	5.7	—
よく眠れない	96	53.1	37.5	4.2	3.1	2.1
飲酒や喫煙の量が増えた	36	52.8	41.7	5.6	—	—
憂うつで気分が沈みがち	45	46.7	44.4	4.4	—	4.4
些細な音やゆれに反応する	288	55.9	38.5	2.1	1.7	1.7
以前楽しめたことに楽しめない	62	48.4	45.2	4.8	—	1.6
イライラする	21	57.1	28.6	9.5	—	4.8
持病が悪化した	22	45.5	40.9	4.5	4.5	4.5
頭痛や胃痛がする	17	64.7	35.3	—	—	—
特にない	412	37.6	48.8	10.9	1.9	0.7
塩竈市にいなかった	86	30.2	58.1	5.8	4.7	1.2
その他	22	45.5	40.9	13.6	—	—

(9) 地域福祉全般について

問 40 あなた自身やあなたの家族に、福祉サービス（介護保険や障害者自立支援給付を含む）が必要になったとき、すぐにサービスを利用しますか。（○は1つだけ）

「利用する」の割合が 61.0%と最も高く、次いで「抵抗はあるが利用する」の割合が 17.7%、「わからない」の割合が 16.7%となっています。



【年齢別】

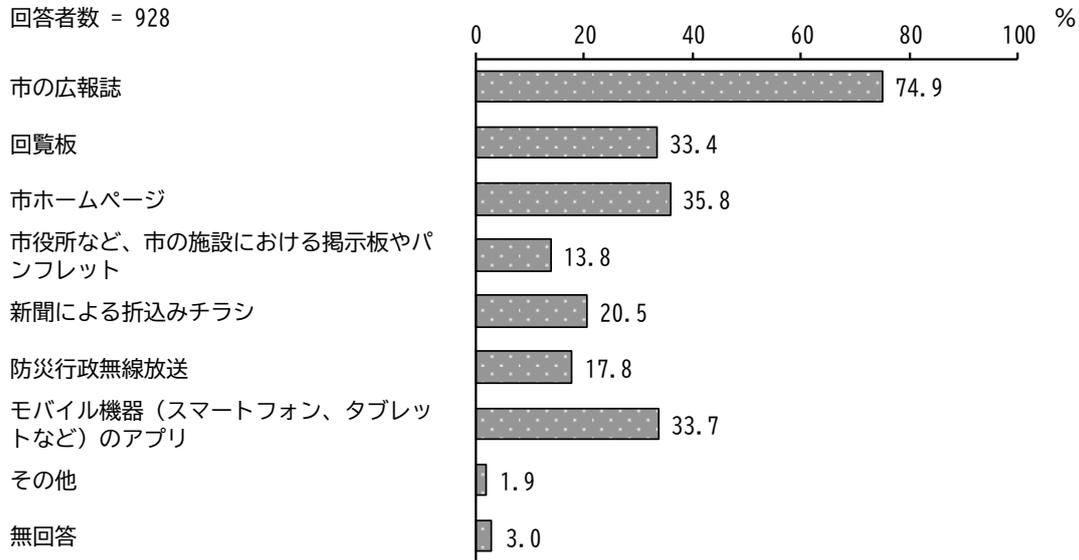
年齢別にみると、全体的に「利用する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用する	抵抗はあるが利用する	利用しない	わからない	無回答
全体	928	61.0	17.7	1.7	16.7	2.9
18、19歳	8	37.5	25.0	—	25.0	12.5
20～29歳	65	64.6	10.8	3.1	21.5	—
30～39歳	85	52.9	11.8	3.5	29.4	2.4
40～49歳	127	67.7	11.0	3.1	17.3	0.8
50～59歳	131	59.5	19.8	0.8	18.3	1.5
60～64歳	87	66.7	20.7	—	11.5	1.1
65～69歳	72	59.7	19.4	1.4	15.3	4.2
70～74歳	104	65.4	22.1	1.9	7.7	2.9
75歳以上	239	56.9	20.9	1.3	15.5	5.4

問 41 塩竈市の保健や福祉に関する情報を、どのような方法で知りたいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「市の広報誌」の割合が74.9%と最も高く、次いで「市ホームページ」の割合が35.8%、「モバイル機器（スマートフォン、タブレットなど）のアプリ」の割合が33.7%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、全体的には「市の広報誌」の割合が1番高く、続いて「市ホームページ」、「モバイル機器（スマートフォン、タブレットなど）のアプリ」の割合が高くなっており、若年層の方インターネット等でのIT関係機器による情報媒体の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	市の広報誌	回覧板	市ホームページ	市役所など、市の施設における掲示板やパンフレット	新聞による折込みチラシ	防災行政無線放送	モバイル機器(スマートフォン、タブレットなど)のアプリ	その他	無回答
全 体	928	74.9	33.4	35.8	13.8	20.5	17.8	33.7	1.9	3.0
18、19 歳	8	25.0	—	50.0	12.5	12.5	—	37.5	—	12.5
20～29 歳	65	46.2	18.5	50.8	16.9	6.2	4.6	55.4	3.1	—
30～39 歳	85	65.9	22.4	50.6	9.4	3.5	5.9	54.1	2.4	5.9
40～49 歳	127	66.1	15.7	51.2	11.0	9.4	10.2	54.3	1.6	0.8
50～59 歳	131	73.3	24.4	51.1	13.0	15.3	16.0	42.0	2.3	1.5
60～64 歳	87	82.8	29.9	41.4	10.3	29.9	9.2	29.9	2.3	1.1
65～69 歳	72	83.3	37.5	37.5	13.9	19.4	20.8	40.3	—	5.6
70～74 歳	104	84.6	47.1	23.1	16.3	28.8	29.8	25.0	1.9	3.8
75 歳以上	239	83.7	50.2	13.0	15.9	31.4	26.8	9.2	2.1	3.8

問 42 地域における健康づくりや高齢者、子ども、障がいのある方への支援など、市民のみなさんが支え合いながら、安心して暮らしていくためのまちづくりについて、ご意見やご要望、アイデアなどがありましたら、自由にお書きください。

ご意見やご要望、アイデアなどの自由意見について、『ユーザーローカル テキストマイニング ツール』により分析すると、次の通りです。

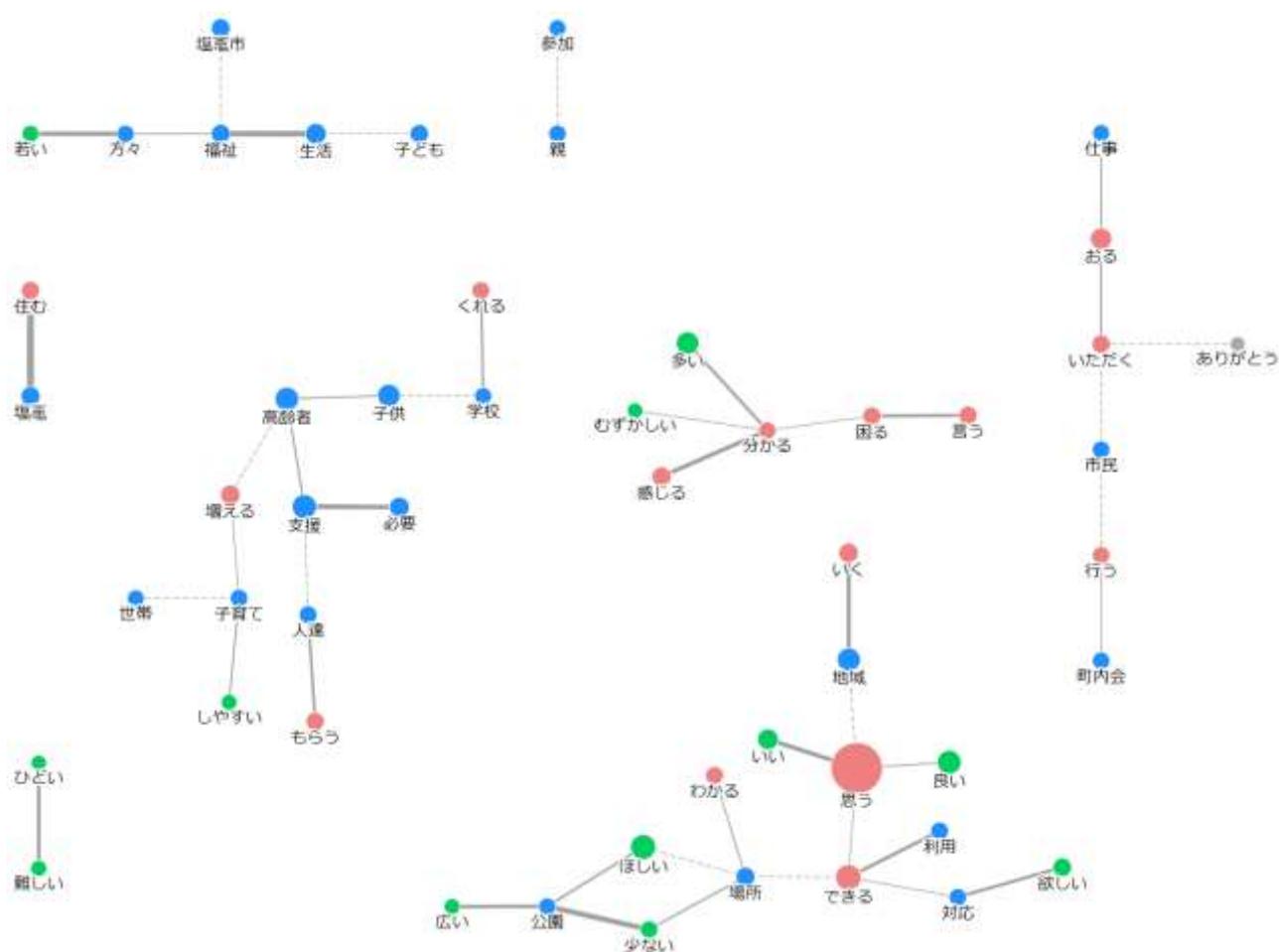
※ワードクラウド スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示しています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

※共起キーワード 文章中に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど丸が大きく、また関連性の程度が強いほど太い線で描画されます。

### 【ワードクラウド】



## 【共起キーワード】



## 【主な意見】

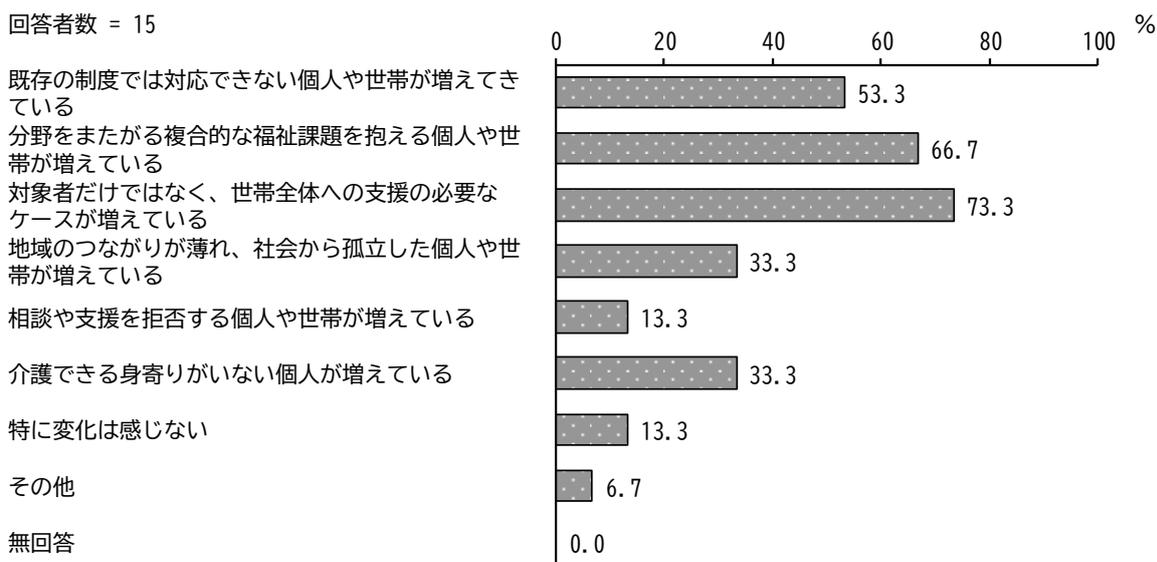
- ・ 現在スマートフォンが普及しているので、アプリを活用する。
- ・ 地域の町内会・学校PTAに入会しない人がふえていると聞く。その方の考えは色々あると思うが、役職につきたくないと言うのが理由だと思う。
- ・ 日々の歩行や運動をすることによってポイントが貯まるようにポイント制度を導入して、商品券に交換できる仕組みをし、塩竈市内の商店街の利用も促す。
- ・ 福祉に関してもっとわかりやすく住民に情報を流してほしい。
- ・ 何も分からない人には親切におしえる心について、役所も考えてほしい。
- ・ 相談相手がほしい。
- ・ 子どもたちがどんどん地域交流から離れていく。
- ・ 個人情報とかいろいろ他人の事にどこまで入っていいのかわからない。
- ・ 善意やボランティアに頼った活動は見直していくべきだと思う。
- ・ 若い方々が子育てしやすい町になるよう期待する。
- ・ 子どもが安心して遊べる公園、散歩できるような場所が少ない。
- ・ 空店舗が多く見られますが、市の財政は大丈夫か。 など

## 市窓口・相談支援機関へのニーズ調査

問1 最近の相談内容や支援対象者の傾向について、どのように感じますか。  
(〇はいくつでも。「その他」にも自由にお書きください)

「対象者だけではなく、世帯全体への支援の必要なケースが増えている」の割合が73.3%と最も高く、次いで「分野をまたがる複合的な福祉課題を抱える個人や世帯が増えている」の割合が66.7%、「既存の制度では対応できない個人や世帯が増えてきている」の割合が53.3%となっています。

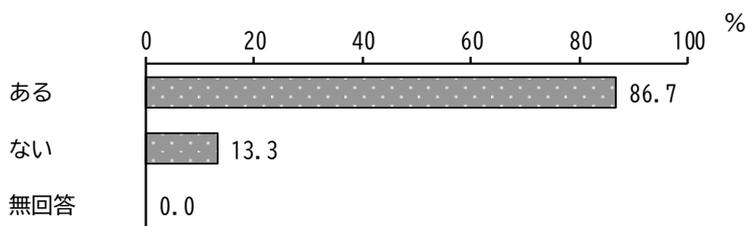
回答者数 = 15



問2 普段の業務の中で、通常関わる業務範囲以外の福祉課題を抱えた個人や世帯に気付いたり、発見したことがありますか。

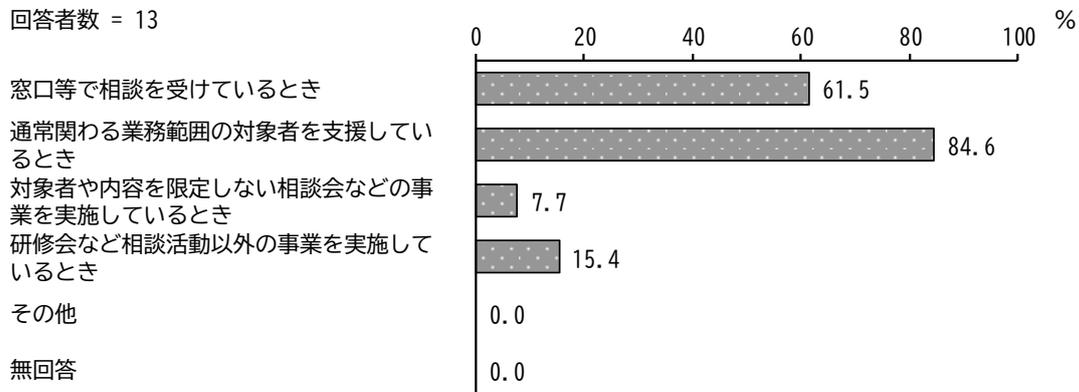
「ある」の割合が86.7%、「ない」の割合が13.3%となっています。

回答者数 = 15



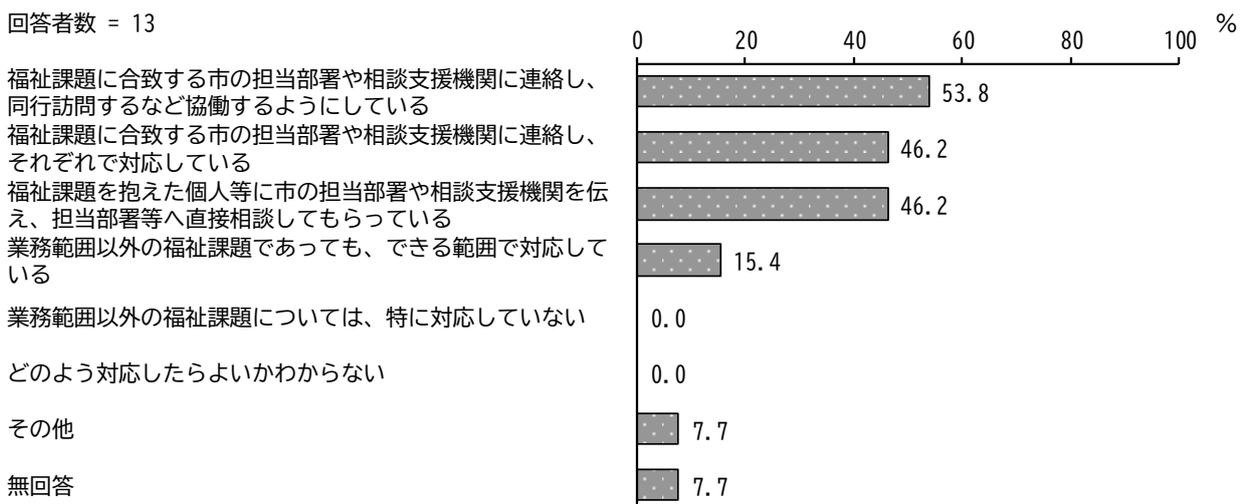
問2-1 それはどのような場面ですか。(〇はいくつでも)

「通常関わる業務範囲の対象者を支援しているとき」の割合が84.6%と最も高く、次いで「窓口等で相談を受けているとき」の割合が61.5%、「研修会など相談活動以外の事業を実施しているとき」の割合が15.4%となっています。



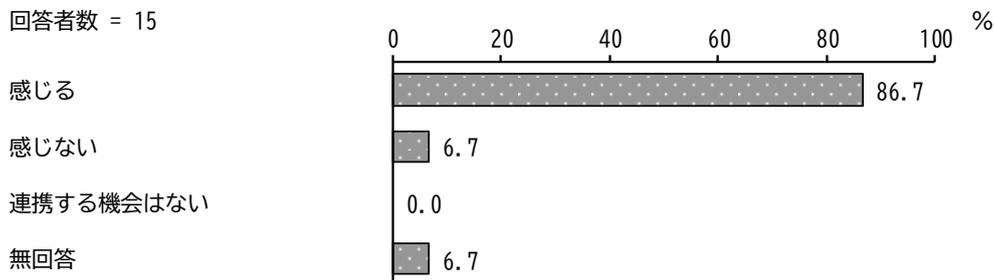
問2-2 個人や世帯が抱える福祉課題が通常関わる業務範囲以外の内容である場合、どのように対応していますか。(〇は2つまで)

「福祉課題に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、同行訪問するなど協働するようになっている」の割合が53.8%と最も高く、次いで「福祉課題に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、それぞれで対応している」、「福祉課題を抱えた個人等に市の担当部署や相談支援機関を伝え、担当部署等へ直接相談してもらっている」の割合が46.2%となっています。



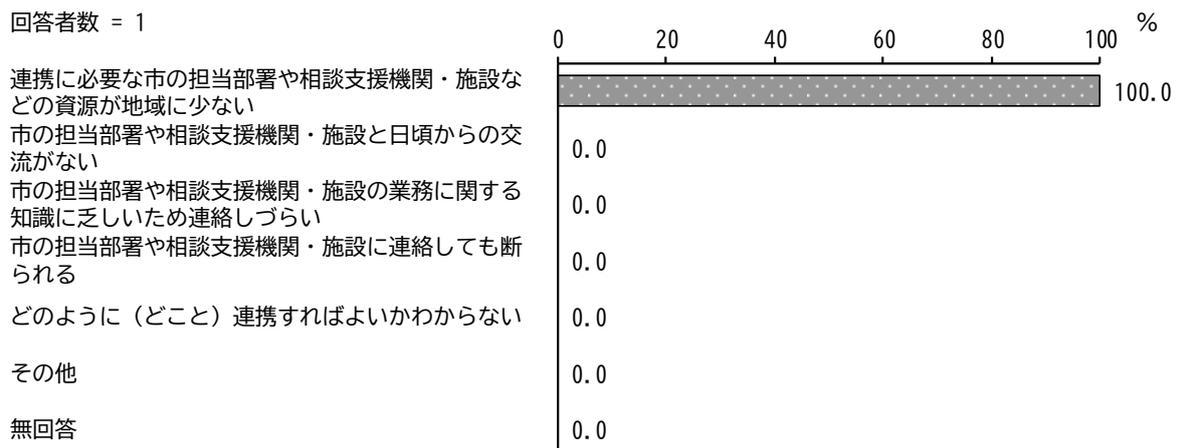
問3 相談者への支援にあたって、通常関わる業務範囲以外の市の担当部署や相談機関・施設と連携する必要があるときに、連絡や連携はスムーズに行われていると感じますか。

「感じる」の割合が86.7%と最も高くなっています。



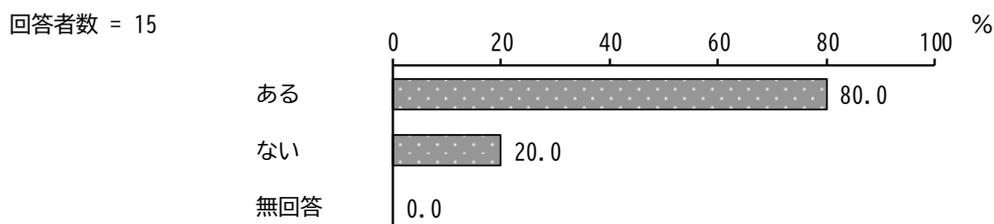
問3-1 その理由として最もあてはまるのは何ですか。(感じないと回答した方限定)

「連携に必要な市の担当部署や相談支援機関・施設などの資源が地域に少ない」が1件となっています。



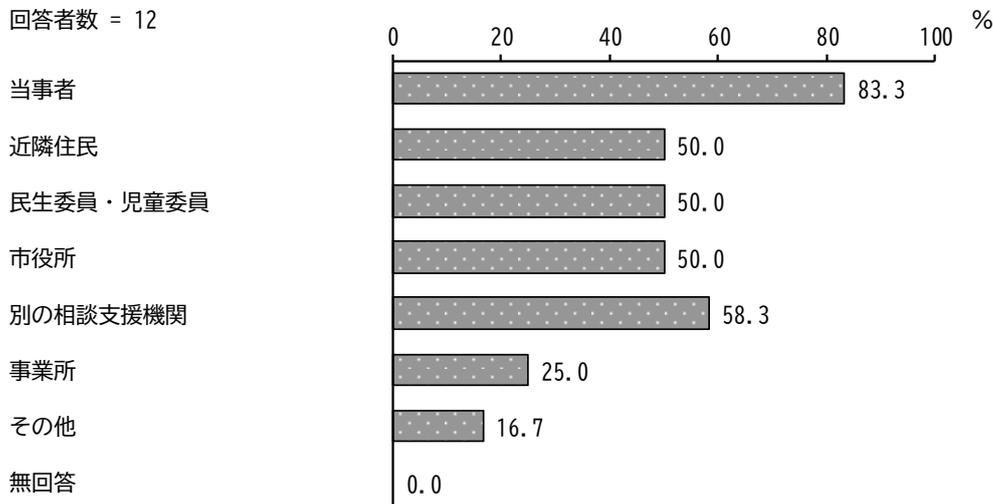
問4 「制度の狭間」や「複合多問題」といった福祉課題を抱えた個人や世帯について、相談を受けたことがありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が80.0%、「ない」の割合が20.0%となっています。



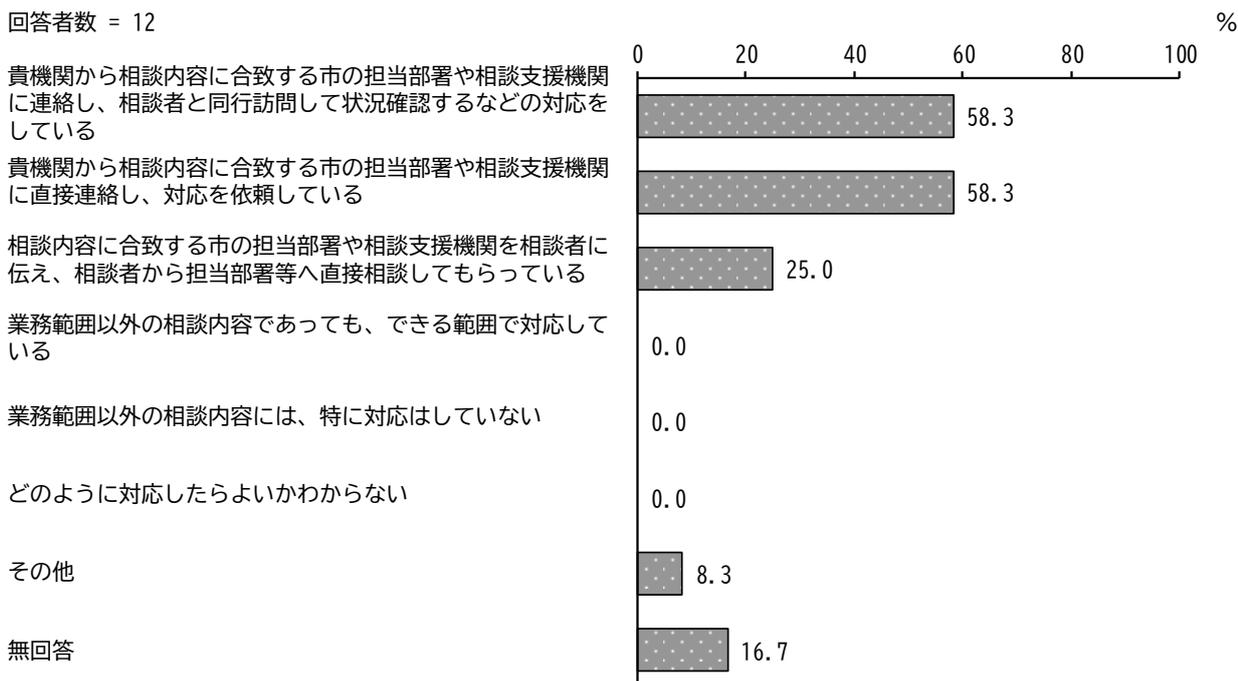
問4-1 問4のような相談内容は、どこから受けることがありますか。  
(〇はいくつでも)

「当事者」の割合が83.3%と最も高く、次いで「別の相談支援機関」の割合が58.3%、「近隣住民」、「民生委員・児童委員」の割合が50.0%となっています。



問4-2 受けた相談が通常関わる業務範囲以外の内容である場合、どのように対応していますか。(〇は2つまで)

「貴機関から相談内容に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、相談者と同行訪問して状況確認するなどの対応をしている」、「貴機関から相談内容に合致する市の担当部署や相談支援機関に直接連絡し、対応を依頼している」の割合が58.3%と最も高く、次いで「相談内容に合致する市の担当部署や相談支援機関を相談者に伝え、相談者から担当部署等へ直接相談してもらっている」の割合が25.0%となっています。



問5 最近、「制度の狭間」や「複合多問題」といった福祉課題を抱えるため、単独の部署や相談支援機関のみでは対応困難な個人や世帯が増えてきていると言われていいます。このような場合に、複数の関係部署・機関をコーディネートする機関が必要と考えますか。

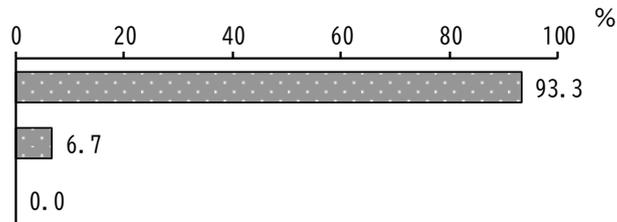
「必要である」の割合が93.3%、「必要でない」の割合が6.7%となっています。

回答者数 = 15

必要である

必要でない

無回答



問5-1 コーディネートする機関に必要な機能は何ですか。(○は2つまで)

「適切にコーディネートできる能力」の割合が85.7%と最も高く、次いで「様々な制度や分野に関する知識」の割合が64.3%、「相談機関の間で、支援の経過を確実にやりとりするための連絡票などの仕組みづくり」の割合が28.6%となっています。

回答者数 = 14

適切にコーディネートできる能力

様々な制度や分野に関する知識

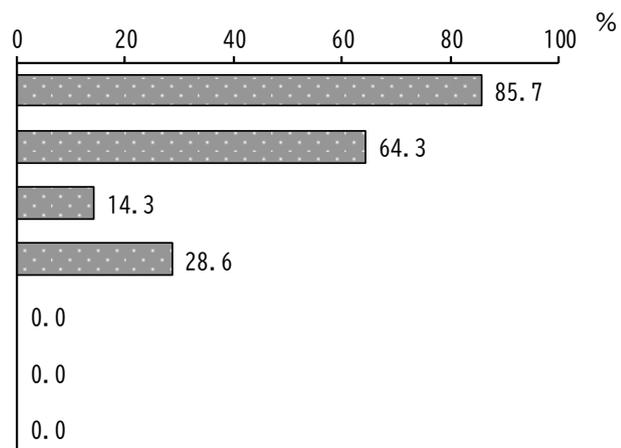
相談機関同士の顔が見える関係づくり

相談機関の間で、支援の経過を確実にやりとりするための連絡票などの仕組みづくり

課題をとりまとめ、既存の制度では対応できない課題を解決するための新たな制度づくり

その他

無回答



問5-2 その理由は何ですか。

有効回答がありません。

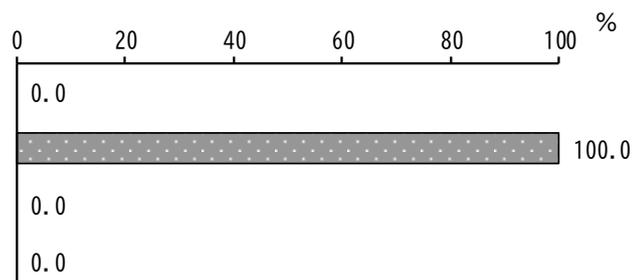
回答者数 = 1

既に連携をコーディネートする機能（仕組み）があるから

通常業務の中で連携が図れているから

その他

無回答



問6 「制度の狭間」や「複合多問題」といった福祉課題を抱えた個人や世帯について、これまでに関係する市の部署や相談支援機関等と連携して対応した例があれば、対応結果を記入してください。(事例は1つ)

「高齢の親と働いていない子が同居している世帯（いわゆる8050問題）」の割合が26.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 15

親の介護と子育てを同時にしている世帯

高齢の親と働いていない子が同居している世帯（いわゆる8050問題）

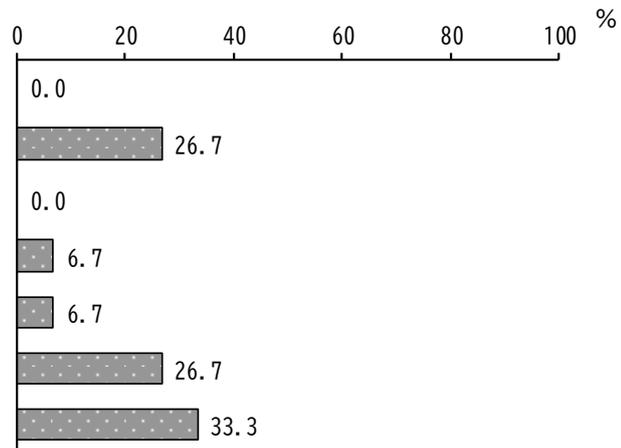
20歳前後で就労できず、生活支援を必要としている人

障害の疑いがあるが、手帳の申請や病院の受診を拒否しているために制度の利用ができない人

ごみ屋敷に暮らす人

その他

無回答



問7 総合相談支援（断らない・漏れの無い相談支援）を実施する体制として、現在の分野別（高齢、障害、児童）窓口が連携するのではなく、ワンストップで受け付ける総合窓口を設置する方がよいと思いますか。また、その理由をご記入ください。

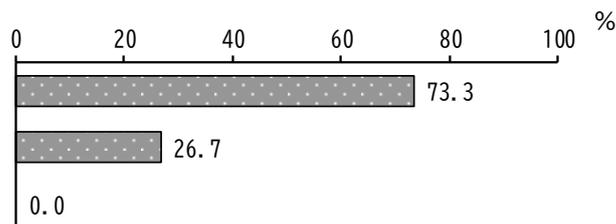
「総合窓口が良いと思う」の割合が73.3%、「総合窓口が良いとは思わない」の割合が26.7%となっています。

回答者数 = 15

総合窓口が良いと思う

総合窓口が良いとは思わない

無回答

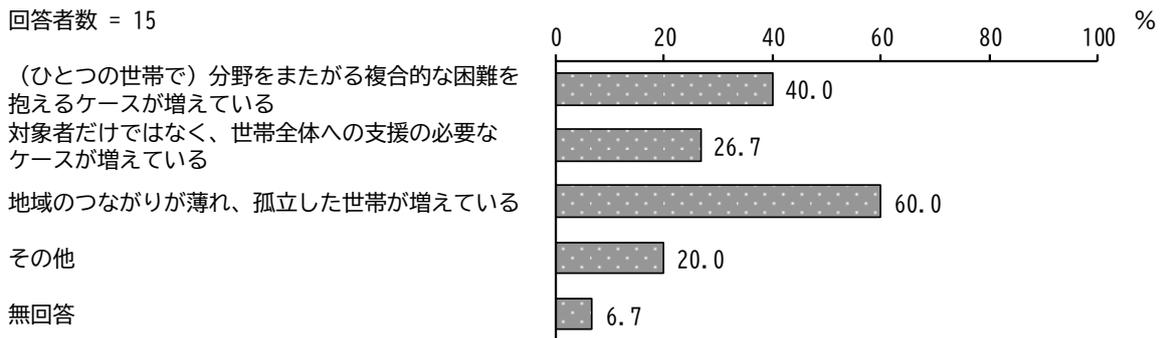


## 民生児童委員・各種団体の方へのニーズ調査

問1 地域住民から受ける相談内容の最近の傾向について、どのように感じますか。  
(○はいくつでも) 選択肢に限らず、「その他」にも自由にお書きください。

「地域のつながりが薄れ、孤立した世帯が増えている」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「(ひとつの世帯で)分野をまたがる複合的な困難を抱えるケースが増えている」の割合が 40.0%、「対象者だけではなく、世帯全体への支援の必要なケースが増えている」の割合が 26.7%となっています。

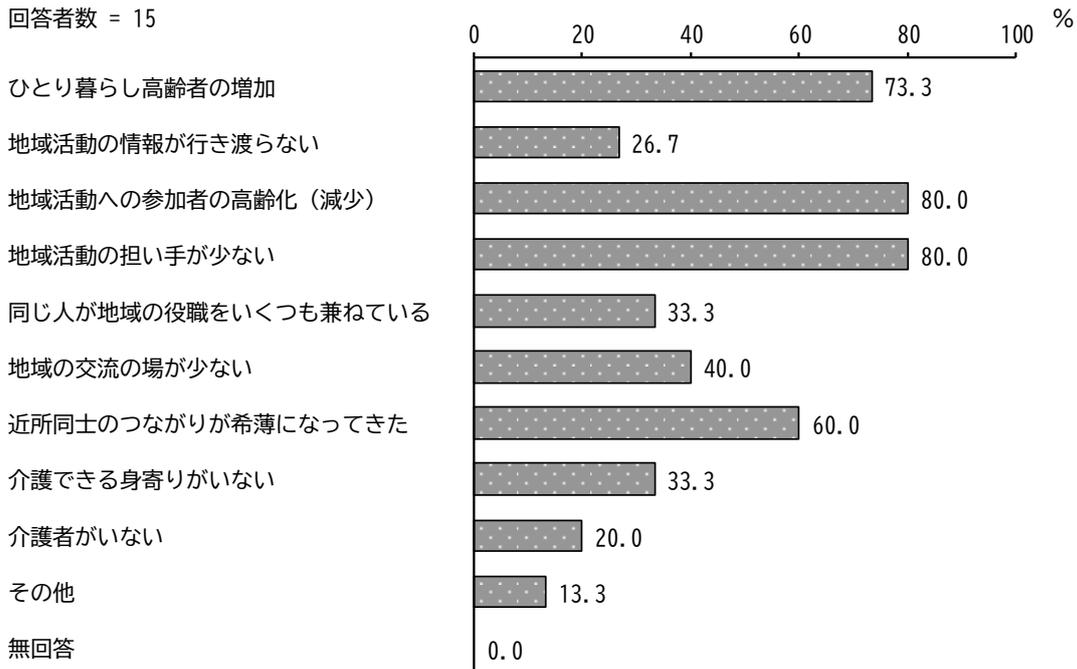
回答者数 = 15



問3 ふだんの活動を通じて感じておられる地域の課題にはどのようなことがありますか。(○はいくつでも) 選択肢に限らず、「その他」にも自由にお書きください。

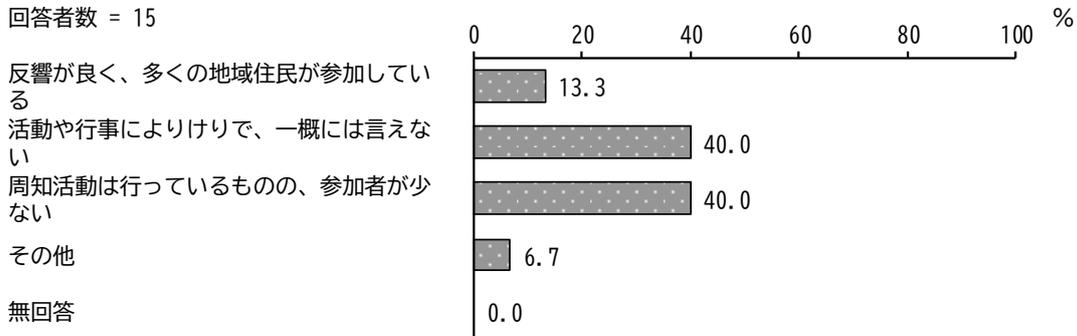
「地域活動への参加者の高齢化(減少)」、「地域活動の担い手が少ない」の割合が 80.0%と最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者の増加」の割合が 73.3%となっています。

回答者数 = 15



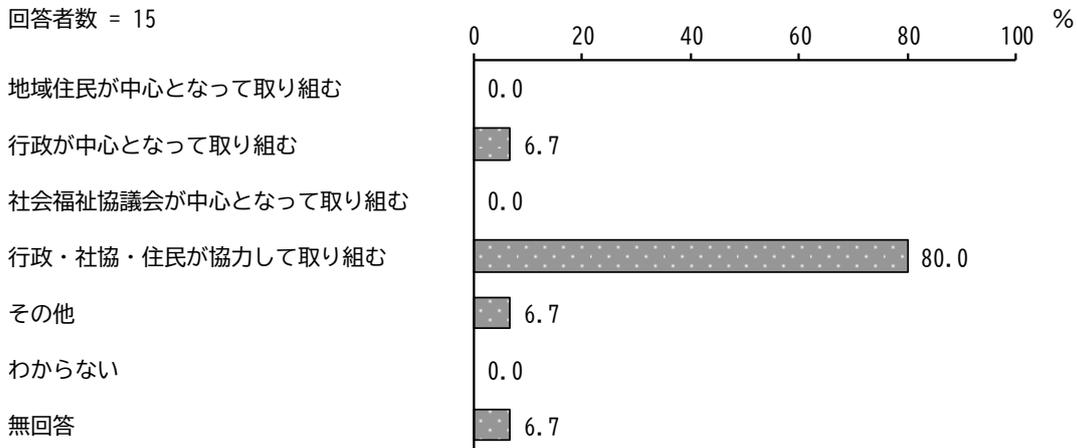
問6 あなたが参加・主催している活動や行事への地域住民の参加状況はいかがですか。(〇はひとつ) 参加がある場合は、その内容についてもご記入ください。

「活動や行事によりけりで、一概には言えない」、「周知活動は行っているものの、参加者が少ない」の割合が40.0%と最も高く、次いで「反響が良く、多くの地域住民が参加している」の割合が13.3%となっています。



問9 今後、地域福祉を推進していくために誰が中心になって取り組む必要があると思いますか。(〇はひとつ)

「行政・社協・住民が協力して取り組む」の割合が80.0%と最も高くなっています。

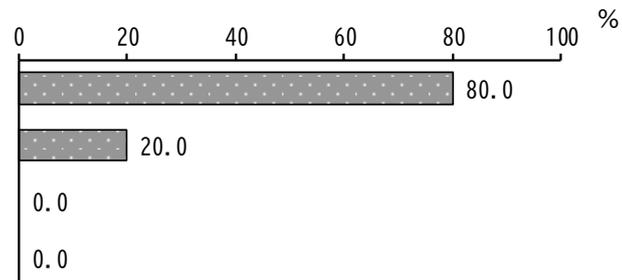


問11 このアンケート前から成年後見制度を知っていましたか。(○はひとつ)

「名前を聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が80.0%と最も高く、次いで「名前は聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が20.0%となっています。

回答者数 = 15

名前を聞いたことがあり、内容も知っている  
 名前は聞いたことはあるが、内容は知らない  
 名前も聞いたことがない  
 無回答

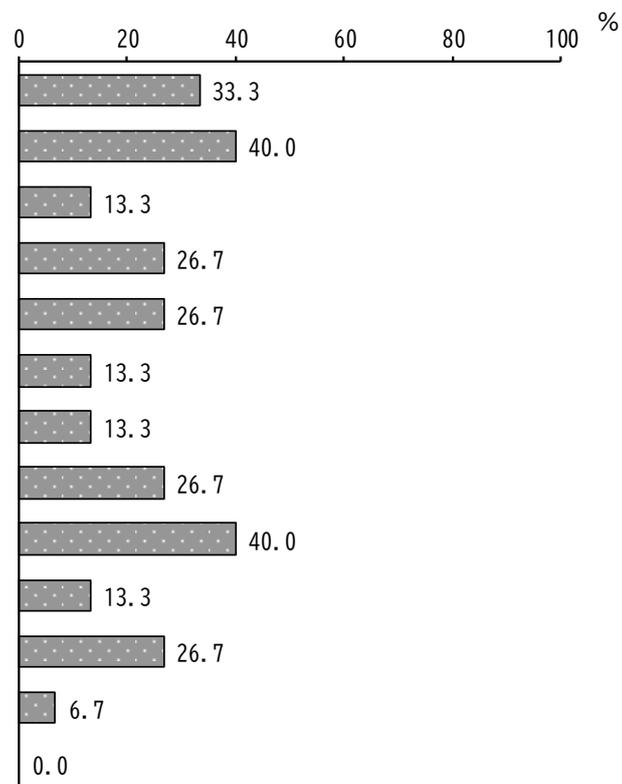


問12 これからの塩竈市の福祉は何を重点にすべきですか。重点にすべきと思う内容に○をつけてください。(○は3つ以内)

「気軽に集まれる場の充実」、「ボランティアやNPOなどの市民活動への支援」の割合が40.0%と最も高く、次いで「住民がお互いに助け合えるまちづくり」の割合が33.3%となっています。

回答者数 = 15

住民がお互いに助け合えるまちづくり  
 気軽に集まれる場の充実  
 個人の自立を支援するためのしくみづくり  
 気軽に相談できる体制の充実  
 子育てしやすいまちづくり  
 幼稚園・学校などにおける福祉教育  
 福祉サービスに関する情報提供  
 災害時要援護者支援の充実  
 ボランティアやNPOなどの市民活動への支援  
 民間事業者等による福祉事業との連携  
 健康や生きがいづくりへの支援  
 その他  
 無回答



塩竈市地域福祉計画策定のための  
アンケート調査結果報告書  
令和5年3月

発行：生活福祉課  
〒985-0052 宮城県塩竈市本町1番1号  
電話 022-364-1131  
FAX 022-366-7167